

学校コード F123310106791

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

愛知学泉大学 家政学部 こどもの生活学科 (必要がある場合) ○○専攻

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人安城学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

職名・氏名

ジムチョウ ロクゴキョウジ
事務長 六郷恭二

電話番号

0564-34-1212

(夜間)

090-1751-5560

e-mail

alex@gakusen.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「○○大学」
- 学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「○○大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

家政学部

＜こどもの生活学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	21
4. 既設大学等の状況	22
5. 教員組織の状況	24
6. 附帯事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人安城学園

(2) 大学名

愛知学泉大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒444-8520

愛知県岡崎市舳越町上川成28

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(テラベ アキラ) 寺部 暁 (平成8年5月)		
学長	(テラベ アキラ) 寺部 暁 (平成28年4月)		
学部長	(アンドウ アケミ) 安藤 明美 (平成26年4月)		
学科長等	(カトウ マンヤ) 加藤 万也 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
家政学部 こどもの生活学科 学士(家政学)	家政関係	4年	70人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	280人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	0.63倍	—倍	0.56倍	—倍	
	志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)						
	受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)						
	合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)						
	B	入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)						
	入学定員超過率 B/A	-	-	-	0.38	0.76	0.66	0.74											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	26 [—] (—)	— [—] (—)	53 [—] (—)	— [—] (—)	46 [—] (—)	— [—] (—)	52 [—] (—)	— [—] (—)	
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	26 [—] (—)	— [—] (—)	53 [—] (—)	— [—] (—)	44 [—] (—)	— [—] (—)	
3年次			/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	24 [—] (—)	— [—] (—)	50 [—] (—)
4年次	/						/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
計			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)					26 [—] (—)	— [—] (—)	79 [—] (—)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	26人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	79人	2人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	2人	人	進路変更(2人)
			令和3年度	人	人	
令和4年度	123人	8人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	1人	人	進路変更
			令和3年度	5人	人	進路変更(5人)
			令和4年度	2人	人	進路変更(2人)
令和5年度	168人	1人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	1人	人	進路変更
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合計		11人		11人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{26} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{79} = \boxed{2.53} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{123} = \boxed{6.5} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{168} = \boxed{0.59} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<家政学部 こどもの生活学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部 共通科目	潜在能力の開発	1前	2									1
	心理学	1前		2								1
	人間関係とコミュニケーション	2前		2								1
	社会学	3後		2								1
	生活経済論	1後	2									1
	日本国憲法	3前		2								1
	生活学概論	1後	2			1						1
	家族論	3前	2									1
	情報リテラシーⅠ	1前		1							1	1
	情報リテラシーⅡ	1後		1							1	1
	多文化理解とグローバル化対応	1前	1			6	2	5				
	多文化理解とグローバル化対応	1前	1			6	2	5				
	多文化理解とグローバル化対応	2前		1								
	小計(13科目)	—	10	11	0	6	2	5	0	2		8
	保健 体育 分野	運動の科学	1前		2				1			
体育実技		1後		1				1				
小計(2科目)		—	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0
外国語 分野	英語	1前		1				1				
	英会話	1後		1				1				
	中国語	2前		1								1
	ハングル	2後		1								1
	日本語Ⅰ	1前		1								1
	日本語Ⅱ	1後		1								1
小計(6科目)	—	0	6	0	0	0	1	0	0	0	3	
その他	単位認定A			1								
	単位認定B			1								
	小計(2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
コア 科目	基礎演習A	1前	1			3		1				1
	基礎演習B	1後	1			2		1				1
	基礎演習C	2前	1			1		2				1
	基礎演習D	2後	1			1		1				1
	専門演習A	3前	1			1	1	1				1
	専門演習B	3後	1			1	1	1				1
	専門演習C	4前	1				1	1				1
	専門演習D	4後	1				1	1				1
	小計(8科目)	—	8	0	0	5	2	5	0	2		0
	専門 科目	教職入門	1前	2			1					
教育心理学		1前	1			1						
教育制度論		1後	2			1						
教育原理		1後	2			1						
教育方法論		2前	2									1
教育課程総論		2後	2			1						
特別支援教育論		2後	2									1
特別支援教育論(オンラインゼミを含む)		3前	2			1						
教育経営論		4前	2					1				
ICT実践演習		4前	2			1						
幼小連携		4後		2				1				
教職実践演習(幼・小)		4後		2		1						
こども生活学概論		1前	2			1						
こども生活学Ⅰ		1後	2				1					
こども生活学Ⅱ		3前	2			1						
小計(15科目)	—	25	4	0	3	1	1	0	0	0	2	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部 共通科目	潜在能力の開発	1前	2									1
	心理学	1前		2								1
	人間関係とコミュニケーション	2前		2								1
	社会学	3後		2								1
	生活経済論	1後	2									1
	日本国憲法	3前		2								1
	生活学概論	1後	2						1			
	家族論	3前	2						1			0
	情報リテラシーⅠ	1前		1								1
	情報リテラシーⅡ	1後		1								1
	多文化理解とグローバル化対応	1前	1					4	4	4	1	
	多文化理解とグローバル化対応	1前	1					4	4	4	1	
	多文化理解とグローバル化対応	2前		1				4	4	4	1	
	小計(13科目)	—	10	11	0	4	4	4	1	2		8
	保健 体育 分野	運動の科学	1前		2					1		
体育実技		1後		1					1			
小計(2科目)		—	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0
外国語 分野	英語	1前		1				1				
	英会話	1後		1				0				
	中国語	2前		1								1
	ハングル	2後		1								1
	日本語Ⅰ	1前		1								1
	日本語Ⅱ	1後		1								1
小計(6科目)	—	0	6	0	0	0	1	0	0	0	4	
その他	単位認定A			1								
	単位認定B			1								
	小計(2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
コア 科目	基礎演習A	1前	1			1	2	2				1
	基礎演習B	1後	1			1	2	2				1
	基礎演習C	2前	1			1		1	1			1
	基礎演習D	2後	1			1		1	1			1
	専門演習A	3前	1			1	1	1	1			1
	専門演習B	3後	1			1	1	1	1			1
	専門演習C	4前	1				1	1	1			1
	専門演習D	4後	1				1	1	1			1
	小計(8科目)	—	8	0	0	3	3	3	1	2		0
	専門 科目	教職入門	1前	2						1		
教育心理学		1前	1					1				
教育制度論		1後	2									1
教育原理		1後	2					0		1		
教育方法論		2前	2									1
教育課程総論		2後	2					0		1		
特別支援教育論		2後	2						1			
特別支援教育論(オンラインゼミを含む)		3前	2						1			
教育経営論		4前	2					1				
ICT実践演習		4前	2					0				
幼小連携		4後		2								1
教職実践演習(幼・小)		4後		2				0	2		1	
こども生活学概論		1前	2					1				
こども生活学Ⅰ		1後	2						1			
こども生活学Ⅱ		3前	2					1				
小計(15科目)	—	25	4	0	2	4	2	0	0	0	4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	社会福祉	3後	2								1	
	子ども家庭福祉	4前	2								1	
	保育原理	1前	2								1	
	保育者論	1後	2								1	
	子ども家庭支援の心理学	4後	2			1						
	保育の心理学	1後	2			1						
	子どもの保健	1後	2				1					
	子どもの食と栄養	2後	2								1	
	子ども家庭支援論	2前	2			1						
	保育内容総論	3前	2								1	
	保育内容(健康)	1後	2			1						1
	保育内容(人間関係)	2前	2			1						
	保育内容(環境)	2後	2				1					1
	保育内容(言葉)	1前	2								1	
	保育内容(表現A)	2前	2				1			1		
	保育内容(表現B)	2後	2			1				1		
	保育内容(表現・演劇)	2前	2				1					
	幼児教育指導法	3後	2								1	
	乳児保育I	1後	2				1					
	乳児保育II	2前	2	1							1	
	子どもの健康と安全	3後	1								1	
	障害児保育	3前	2								1	
	社会的養護I	2後	2				1					
	社会的養護II	3前	1				1					
	子育て支援	3前	1				1					
	保育の計画と評価	2後	2								1	
	幼児理解	3後	2		2		1					
	こども文学	3後	2			1						
	こども文化	4前	1			1						
	こどもの健康I	2前	1					1				
	こどもの健康II	2後	1				1					
	こどもと人間関係	3後	1				1					
	こどもと環境	3前	1					1				1
	こども言語	3後	1								1	
	こども表現(音楽I)	1前	1					2				
	こども表現(音楽II)	2前	1					2				
	こども表現(音楽III)	3後	1					2				
	こども表現(図画工作A)	1前	1			1				1		
	こども表現(図画工作B)	4前	1			1				1		
	保育実践演習	4前	2			2				1		
	地域と子育て支援	3後	2								1	
小計(41科目)		—	40	27	0	4	1	4	0	2	6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	社会福祉	3後	2									1
	子ども家庭福祉	4前	2									1
	保育原理	1前	2									1
	保育者論	1後	2									1
	子ども家庭支援の心理学	4後	2					1				
	保育の心理学	1後	2					1				
	子どもの保健	1後	2					1				
	子どもの食と栄養	2後	2									1
	子ども家庭支援論	2前	2				1					1
	保育内容総論	3前	2					1				
	保育内容(健康)	1後	2				1					1
	保育内容(人間関係)	2前	2				1					
	保育内容(環境)	2後	2					0				1
	保育内容(言葉)	1前	2					1				
	保育内容(表現A)	2前	2				0		1		1	
	保育内容(表現B)	2後	2				1				1	
	保育内容(表現・演劇)	2前	2						0	1		
	幼児教育指導法	3後	2									1
	乳児保育I	1後	2				1					
	乳児保育II	2前	2	1			1					
	子どもの健康と安全	3後	1					1				
	障害児保育	3前	2									1
	社会的養護I	2後	2				1					
	社会的養護II	3前	1				1					
	子育て支援	3前	1				1					
	保育の計画と評価	2後	2					1				
	幼児理解	4後	2				1		1			
	こども文学	3後	2				1	0				
	こども文化	4前	1				1	0				
	こどもの健康I	2前	1							1		
	こどもの健康II	2後	1				1					
	こどもと人間関係	3後	1					1				
	こどもと環境	3前	1									1
	こども言語	3後	1									1
	こども表現(音楽I)	1前	1						1	1		
	こども表現(音楽II)	2前	1					1	0	1		
	こども表現(音楽III)	3後	1						0	1		
	こども表現(図画工作A)	1前	1			1					1	
	こども表現(図画工作B)	4前	1			1					1	
	保育実践演習	4前	2					2			1	
	地域と子育て支援	3後	2									1
小計(41科目)		—	40	27	0	3	3	2	1	2	8	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部共通科目	教養分野	潜在能力の開発	1前	2								1	
		心理学	1前		2								1
		人間関係とコミュニケーション	2前		2								1
		社会学	3後		2								1
		生活経済論	1後	2									1
		日本国憲法	3前		2								1
		生活学概論	1後	2					1				1
		家族論	3前	2									1
		情報リテラシーI	1前		1							1	1
		情報リテラシーII	1後		1							1	1
		社会へつなぐアクティビティI	1前	1			5	4	3	1			
		社会へつなぐアクティビティII	2前	1			5	4	3	1			
		小計(13科目)	—	10	11	0	5	4	3	1	2		10
	保健体育分野	運動の科学	1前		2					1			
		体育実技	1後		1					1			
		小計(2科目)	—	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0
	外国語分野	英語	1前		1				1				
		英会話	1後		1				1				
		中国語	2前		1								1
		ハングル	2後		1								1
日本語I		1前		1								1	
日本語II		1後		1								1	
小計(6科目)	—	0	6	0	0	1	0	0	0	0	3		
その他	単位認定A			1									
	単位認定B			1									
	小計(2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
専門科目	コア科目	基礎演習A	1前	1			1	2	1			1	
		基礎演習B	1後	1			1	2	1			1	
		基礎演習C	2前	1			1		1	1		1	
		基礎演習D	2後	1			1		1	1		1	
		専門演習A	3前	1			2	1				1	
		専門演習B	3後	1			2	1				1	
		専門演習C	4前	1			1	1				1	
		専門演習D	4後	1			1	1				1	
	小計(8科目)	—	8	0	0	4	4	3	1	2		0	
	共通領域	教職入門	1前	2									1
		教育心理学	1前	1				1					1
		教育制度論	1後	2									1
		教育原理	1後	2			1						1
		教育方法論	2前	2									1
		教育課程総論	2後	2			1						1
特別支援教育論		2後	2									1	
教育経営論	3前	2				1					1		
ICT実践演習	4前	2			1						1		
幼小連携	4後		2								1		
教職実践演習(幼・小)	4後		2		2						1		
子ども生活学概論	1前	2			1						1		
子ども生活学I	1後	2					1				1		
子ども生活学II	3前	2			1						1		
小計(15科目)	—	25	4	0	3	1	1	0	0	0	4		

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
学部共通科目	教養分野	潜在能力の開発	1前	2									1	
		心理学	1前		2									1
		人間関係とコミュニケーション	2前		2									1
		社会学	3後		2									1
		生活経済論	1後	2										1
		日本国憲法	3前		2									1
		生活学概論	1後	2						1				1
		家族論	3前	2										1
		情報リテラシーI	1前		1								1	1
		情報リテラシーII	1後		1								1	1
		社会へつなぐアクティビティI	1前	1					5	3	4	1		
		社会へつなぐアクティビティII	2前	1					5	3	4	1		
		小計(13科目)	—	10	11	0	5	3	4	1	2		8	
	保健体育分野	運動の科学	1前		2						1			
		体育実技	1後		1						1			
		小計(2科目)	—	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	
	外国語分野	英語	1前		1						1			
		英会話	1後		1						1			
		中国語	2前		1									1
		ハングル	2後		1									1
日本語I		1前		1									1	
日本語II		1後		1									1	
小計(6科目)	—	0	6	0	0	0	0	1	0	0	0	3		
その他	単位認定A			1										
	単位認定B			1										
	小計(2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
専門科目	コア科目	基礎演習A	1前	1				2	1	1			1	
		基礎演習B	1後	1				2	1	1			1	
		基礎演習C	2前	1			1			1	1		1	
		基礎演習D	2後	1			1			1	1		1	
		専門演習A	3前	1			1	1	1	1	1		1	
		専門演習B	3後	1			1	1	1	1	1		1	
		専門演習C	4前	1					1	1			1	
		専門演習D	4後	1					1	1			1	
	小計(8科目)	—	8	0	0	4	3	3	1	2		0		
	共通領域	教職入門	1前	2										1
		教育心理学	1後	1							1			1
		教育制度論	1後	2										1
		教育原理	1後	2					1					1
		教育方法論	2前	2										1
		教育課程総論	2後	2										1
特別支援教育論		2後	2										1	
教育経営論	3前	2							1			1		
ICT実践演習	4前	2					1					1		
幼小連携	4後		2									1		
教職実践演習(幼・小)	4後		2					1				1		
子ども生活学概論	1前	2							1			1		
子ども生活学I	1後	2						1				1		
子ども生活学II	3前	2					1					1		
小計(15科目)	—	25	4	0	4	1	1	0	0	0	0	6		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	社会福祉	3後	2							1	
	子ども家庭福祉	4前	2							1	
	保育原理	1前	2							1	
	保育者論	1後	2							1	
	子ども家庭支援の心理学	4後	2				1				
	保育の心理学	1後	2				1				
	子どもの保健	1後	2			1					
	子どもの食と栄養	2後	2							1	
	子ども家庭支援論	2前	2								1
	保育内容総論	3前	2				1				
	保育内容(健康)	1後	2				1				1
	保育内容(人間関係)	2前	2				1				1
	保育内容(環境)	2後	2				1				1
	保育内容(言葉)	1前	2				1				
	保育内容(表現A)	2前	2				1			1	
	保育内容(表現B)	2後	2				1				1
	保育内容(表現・演劇)	2前	2					1			
	幼児教育指導法	3後	2								1
	乳児保育 I	1後	2				1				
	乳児保育 II	2前	1				1				1
	子どもの健康と安全	3後	1				1				1
	障害児保育	3前	2								1
	社会的養護 I	2後	2				1				
	社会的養護 II	3前	1				1				
	子育て支援	3前	1				1				
	保育の計画と評価	2後	2				1				
	幼児理解	4後	2				1				1
	こども文学	3後	2				1				
	こども文化	4前	1				1				
	こどもの健康 I	2前	1					1			
	こどもの健康 II	2後	1				1				
	こどもと人間関係	3後	1						1		
	こどもと環境	3前	1						1		
	こども言語	3後	1							1	
	こども表現(音楽 I)	1前	1					1		1	
	こども表現(音楽 II)	2前	1					1		1	
	こども表現(音楽 III)	3後	1					1		1	
	こども表現(図画工作A)	1前	1			1					1
	こども表現(図画工作B)	4前	1			1					1
	保育実践演習	4前	2				2				1
	地域と子育て支援	3後	2								1
小計(41科目)	—	—	40	27	0	3	3	2	1	2	7

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門科目	社会福祉	3後	2								1	
	子ども家庭福祉	4前	2								1	
	保育原理	1前	2								1	
	保育者論	1後	2								1	
	子ども家庭支援の心理学	4後	2							1		
	保育の心理学	1後	2						1			
	子どもの保健	1後	2						1			
	子どもの食と栄養	2後	2								1	
	子ども家庭支援論	2前	2									1
	保育内容総論	3前	2									1
	保育内容(健康)	1後	2						1			1
	保育内容(人間関係)	2前	2									1
	保育内容(環境)	2後	2							1		1
	保育内容(言葉)	1前	2						1			
	保育内容(表現A)	2前	2						1			1
	保育内容(表現B)	2後	2						1			1
	保育内容(表現・演劇)	2前	2							1		
	幼児教育指導法	3後	2									1
	乳児保育 I	1後	2						1			
	乳児保育 II	2前	1									1
	子どもの健康と安全	3後	1									1
	障害児保育	3前	2									1
	社会的養護 I	2後	2						1			
	社会的養護 II	3前	1						1			
	子育て支援	3前	1						1			
	保育の計画と評価	2後	2							1		
	幼児理解	4後	2									1
	こども文学	3後	2						1			
	こども文化	4前	1						1			
	こどもの健康 I	2前	1							1		
	こどもの健康 II	2後	1						1			
	こどもと人間関係	3後	1								1	
	こどもと環境	3前	1							1		
	こども言語	3後	1									1
	こども表現(音楽 I)	1前	1							1	1	
	こども表現(音楽 II)	2前	1							1	1	
	こども表現(音楽 III)	3後	1							1	1	
	こども表現(図画工作A)	1前	1				1					1
	こども表現(図画工作B)	4前	1				1					1
	保育実践演習	4前	2						1			1
	地域と子育て支援	3後	2									1
小計(41科目)	—	—	40	27	0	3	3	2	2	1	2	8

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
小学校領域	国語科教育法	1後	2			1						
	社会科教育法	3前		2						1		
	算数科教育法	1後		2						1		
	理科教育法	3前		2						1		
	生活科教育法	2後		2						1		
	音楽科教育法	3前		2			1					
	図画工作教育法	2後		2						1		
	家庭科教育法	3後		2						1		
	体育科教育法	3前		2		1						
	外国語(英語)教育法	2前		2			1					
	特別活動の指導法	3後		2						1		
	道徳教育の理論と実践	1後		2		1						
	総合的な学習の時間の指導法	2後		2						1		
	国語科(含む書写)研究	1前		2			1					
	社会科研究	2前		2						1		
	算数科研究	1前		2						1		
	理科研究	2前		2						1		
	生活科研究	1後		2						1		
	音楽科研究	2後		2			1					
	図画工作研究A	2前		2		1					1	
	図画工作研究B	3後		2	1	1					1	
	家庭科研究	2前		2			1					
	体育科研究	2後		2			1					
	小学校英語	1後		2			1					
	小学算数	2後		2							1	
	小学家庭	4前		1			1					
	児童音楽	4前		1				1				
	児童体育	4前		1			1					
	児童英語	4前		1			1					
	生徒指導論	4後		2		1						
	4前			2		1						
	小計(31科目)	—		34	22	0	3	2	3	1	2	11
	実習(学外)領域	保育実習指導Ⅰ	2後		2		1				1	
		保育実習Ⅰ	2後		2				1		2	
施設実習		3前		2		1	1			1		
保育実習指導Ⅱ		3後		1		1				1		
保育実習Ⅱ(保育実習)		3後		2		1	1			1		
保育実習Ⅲ(施設実習)		3後		2		1	1			1		
教育実習指導(幼)		3後		1		1		1		1		
教育実習指導(小)		3前		1		2		1		1		
教育実習(幼)		4前		4		1		1		2		
教育実習(小)		3後		4		2				2		
ボランティア活動(3単位取得時限)		2後		1			1			2		
エクスターンⅠ		2前		1		1	2		1	1		
エクスターンⅡ		2後		1		1	2		1	1		
小計(13科目)	—		0	24	0	4	3	1	1	2	0	
ライフ開拓領域	キッズイングリッシュⅠ	1前		1							1	
	キッズイングリッシュⅡ	4後		1						1		
	学泉アカデミーA	1前		1							1	
	学泉アカデミーB	1前		1							1	
	学泉アカデミーC	1後		1							1	
	学泉アカデミーD	1後		1		1						
	学泉アカデミーE	2前		1							1	
	学泉アカデミーF	2前		1							1	
	教職保育特論1	2後		1		2	2	1	1			
	教職保育特論2	2後		1		3	2	2				
	教職保育特論3	3前		1		2	2	1	1			
	教職保育特論4	3前		1		3	2	2				
	教職保育特論5	3後		1		2	2	1	1			
	教職保育特論6	3後		1		3	2	2				
	教職保育特論7	4前		1		2	2	1	1			
	教職保育特論8	4前		1		3	2	2				
小計(16科目)	—		0	16	0	5	4	3	1	0	6	
卒研	卒業研究	4前後		4		5	4	3	1			
小計(1科目)	—		4	0	0	5	4	3	1	0	0	
合計(148科目)	—		121	115	0	5	4	3	1	2	32	

卒業要件及び履修方法

卒業要件: 共通科目24単位(うち必修科目10単位、外国語分野選択必修2単位以上)、専門科目93単位(うち必修36単位)合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

資格要件:①保育士と幼稚園教諭一種:共通科目21単位、専門科目102単位以上。合計123単位以上。②幼稚園教諭一種と小学校教諭一種:共通科目21単位、専門科目115単位以上。合計136単位以上。③保育士と小学校教諭一種:共通科目21単位、専門科目135単位以上。合計156単位以上。④保育士と幼稚園教諭一種と小学校教諭一種:共通科目21単位、専門科目132単位以上。合計153単位以上。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
小学校領域	国語科教育法	1後	2			1						
	社会科教育法	3前		2						1		
	算数科教育法	1後		2						1		
	理科教育法	3前		2						1		
	生活科教育法	2後		2						1		
	音楽科教育法	3前		2			1					
	図画工作教育法	2後		2						1		
	家庭科教育法	3後		2						1		
	体育科教育法	3前		2		1						
	外国語(英語)教育法	2前		2			1					
	特別活動の指導法	3後		2						1		
	道徳教育の理論と実践	1後		2		1						
	総合的な学習の時間の指導法	2後		2						1		
	国語科(含む書写)研究	1前		2			1					
	社会科研究	2前		2						1		
	算数科研究	1前		2						1		
	理科研究	2前		2						1		
	生活科研究	1後		2						1		
	音楽科研究	2後		2			1					
	図画工作研究A	2前		2		1					1	
	図画工作研究B	3後		2	1	1					1	
	家庭科研究	2前		2			1					
	体育科研究	2後		2			1					
	小学校英語	1後		2						1		
	小学算数	2後		2							1	
	小学家庭	4前		1			1					
	児童音楽	4前		1				1				
	児童体育	4前		1			1					
	児童英語	4前		1			1					
	生徒指導論	4後		2		1						
	4前			2		1						
	小計(31科目)	—		34	22	0	4	1	4	1	2	8
	実習(学外)領域	保育実習指導Ⅰ	2後		2				1		1	
		保育実習Ⅰ	2後		2					1	1	
施設実習		3前		2				1		1		
保育実習指導Ⅱ		3後		1				1		1		
保育実習Ⅱ(保育実習)		3後		2				1	1	1		
保育実習Ⅲ(施設実習)		3後		2			1	1		1		
教育実習指導(幼)		3後		1		1		1		1		
教育実習指導(小)		3前		1		2		1		1		
教育実習(幼)		4前		4					1	2		
教育実習(小)		3後		4		2				2		
ボランティア活動(3単位取得時限)		2後		1			1			2		
エクスターンⅠ		2前		1		1	2		1	1		
エクスターンⅡ		2後		1		1	2		1	1		
小計(13科目)	—		0	24	0	4	2	2	1	2	0	
ライフ開拓領域	キッズイングリッシュⅠ	1前		1							1	
	キッズイングリッシュⅡ	4後		1						1		
	学泉アカデミーA	1前		1							1	
	学泉アカデミーB	1前		1							1	
	学泉アカデミーC	1後		1							1	
	学泉アカデミーD	1後		1		1						
	学泉アカデミーE	2前		1							1	
	学泉アカデミーF	2前		1							1	
	教職保育特論1	2後		1		2	1	2	1			
	教職保育特論2	2後		1		1	4	1	2			
	教職保育特論3	3前		1		1	2	1	2	1		
	教職保育特論4	3前		1		1	4	1	2			
	教職保育特論5	3後		1		1	2	1	2	1		
	教職保育特論6	3後		1		1	4	1	2			
	教職保育特論7	4前		1		1	2	1	2	1		
	教職保育特論8	4前		1		1	4	1	2			
小計(16科目)	—		0	16	0	5	3	4	1	0	5	
卒研	卒業研究	4前後		4		5	3	4	1			
小計(1科目)	—		4	0	0	5	3	4	1	0	0	
合計(148科目)	—		121	115	0	5	3	4	1	2	35	

卒業要件及び履修方法

卒業要件: 共通科目24単位(うち必修科目10単位、外国語分野選択必修2単位以上)、専門科目93単位(うち必修36単位)合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

資格要件:①保育士と幼稚園教諭一種:共通科目21単位、専門科目102単位以上。合計123単位以上。②幼稚園教諭一種と小学校教諭一種:共通科目21単位、専門科目115単位以上。合計136単位以上。③保育士と小学校教諭一種:共通科目21単位、専門科目135単位以上。合計156単位以上。④保育士と幼稚園教諭一種と小学校教諭一種:共通科目21単位、専門科目132単位以上。合計153単位以上。

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
学部 共通科目	潜在能力の開発	1前	2								1	
	心理学	1前		2							1	
	人間関係とコミュニケーション	2前		2							1	
	社会学	3後		2							1	
	生活経済論	1後	2								1	
	日本国憲法	3前		2							1	
	生活学概論	1後	2			1						
	家族論	3前	2								1	
	情報リテラシーⅠ	1前		1							1	
	情報リテラシーⅡ	1後		1							1	
	英語-基礎から実践まで-	1前	1			6	2	5				
	英語-基礎から実践まで-	1前	1			6	2	5				
	英語-基礎から実践まで-	2前	1			6	2	5				
	小計 (13科目)	—	10	11	0	6	2	5	0	2	8	
	保健体育	運動の科学	1前		2				1			
		体育実技	1後		1				1			
		小計 (2科目)	—	0	3	0	0	0	1	0	0	0
	外国語分野	英語	1前		1				1			
		英会話	1後		1				1			
		中国語	2前		1							1
		ハングル	2後		1							1
		日本語Ⅰ	1前		1							1
		日本語Ⅱ	1後		1							1
		小計 (6科目)	—	0	6	0	0	0	1	0	0	3
	その他	単位認定A	—		1							
	単位認定B	—		1								
	小計 (2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
専門科目	コア科目	基礎演習A	1前	1			3		1		1	
		基礎演習B	1後	1			2		1		1	
		基礎演習C	2前	1			1		2		1	
		基礎演習D	2後	1			1		1		1	
		専門演習A	3前	1			1	1	1		1	
		専門演習B	3後	1			1	1	1		1	
		専門演習C	4前	1			1	1	1		1	
		専門演習D	4後	1			1	1	1		1	
		小計 (8科目)	—	8	0	0	5	2	5	0	2	0
	共通領域	教職入門	1前	2								1
		教育心理学	1前	1								1
		教育制度論	1後	2								1
		教育原理	1後	2			1					
		教育方法論	2前	2								1
		教育課程総論	2後	2								1
		特別支援教育論	2後	2								1
		特別支援教育論 <small>(特別支援教育実践)</small>	3前	2			1					
		教育経営論	4前	2								1
	ICT実践演習	4前	2			1						
	幼小連携	4後		2				1				
	教職実践演習 (幼・小)	4後		2								
	こども生活学概論	1前	2			1						
	こども生活学Ⅰ	1後	2				1					
	こども生活学Ⅱ	3前	2			1						
	小計 (15科目)	—	25	4	0	3	1	1	0	0	5	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 科 目	社会福祉	3後	2									1
	子ども家庭福祉	4前	2									1
	保育原理	1前	2									1
	保育者論	1後	2									1
	子ども家庭支援の心理学	4後	2			1						
	保育の心理学	1後	2			1						
	子どもの保健	1後	2				1					
	子どもの食と栄養	2後	2									1
	子ども家庭支援論	2前	2			1						
	保育内容総論	3前	2									1
	保育内容（健康）	1後	2				1					1
	保育内容（人間関係）	2前	2									1
	保育内容（環境）	2後	2					1				1
	保育内容（言葉）	1前	2									1
	保育内容（表現A）	2前	2			1					1	
	保育内容（表現B）	2後	2			1					1	
	保育内容（表現・演劇）	2前	2					1				
	幼児教育指導法	3後	2									1
	乳児保育Ⅰ	1後	2				1					
	乳児保育Ⅱ	2前		1								1
	子どもの健康と安全	3後		1								1
	障害児保育	3前		2								1
	社会的養護Ⅰ	2後		2			1					
	社会的養護Ⅱ	3前		1			1					
	子育て支援	3前		1			1					
	保育の計画と評価	2後	2									1
	幼児理解	4後	2		2							1
	こども文学	3後	2		2		1					
	こども文化	4前	1		1		1					
	こどもの健康Ⅰ	2前	1		1			1				
	こどもの健康Ⅱ	2後	1		1		1					
	こどもと人間関係	3後	1		1		1					
	こどもと環境	3前	1		1			1				
	こども言語	3後	1		1							1
	こども表現（音楽Ⅰ）	1前	1		1			2				
	こども表現（音楽Ⅱ）	2前	1		1			2				
	こども表現（音楽Ⅲ）	3後	1		1			2				
	こども表現（図画工作A）	1前	1		1		1				1	
	こども表現（図画工作B）	4前	1		1		1				1	
	保育実践演習	4前	2		2		2				1	
	地域と子育て支援	3後	2		2							1
小計（41科目）	—	—	40	27	0	4	1	4	0	2	9	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	小学校領域	国語科教育法	1後	2		1							
		社会科教育法	3前		2							1	
		算数科教育法	1後		2							1	
		理科教育法	3前		2							1	
		生活科教育法	2後		2				1				
		音楽科教育法	3前		2				1				
		図画工作教育法	2後		2							1	
		家庭科教育法	3後		2							1	
		体育科教育法	3前		2		1						
		外国語(英語)教育法	2前	2					1				
		特別活動の指導法	3後	2								2	
		道徳教育の理論と実践	1後	2			1						
		総合的な学習の時間の指導法	2後	2								1	
		国語科(含む書写)研究	1前	2			1						
		社会科研究	2前	2								1	
		算数科研究	1前	2								1	
		理科研究	2前	2								1	
		生活科学研究	1後	2					1				
		音楽科学研究	2後	2					1				
		図画工作研究A	2前	2			1					1	
		図画工作研究B	3後	2	1		1					1	
		家庭科学研究	2前	2				1					
		体育科学研究	2後	2					1				
		小学校英語	1後	2						1			
		小学算数	2後	2	1					1			1
		小学家庭	4前	1				1					
		児童音楽	4前	1					1				
		児童体育	4前	1					1				
		児童英語	4前	1					1				
		生徒指導論	4後	2			1						
		小計(31科目)	—	34	22	0	5	1	5	0	2		8
専門科目	実習(学外)領域	保育実習指導Ⅰ	2後		2		1				1		
		保育実習Ⅰ	2後		2		1				2		
		施設実習	3前		2				1		1		
		保育実習指導Ⅱ	3後		1		1				1		
		保育実習Ⅱ(保育実習)	3後		2			1			1		
		保育実習Ⅲ(施設実習)	3後		2			1			1		
		教育実習指導(幼)	3後		1		1		1		1		
		教育実習指導(小)	3前		1		2				1		
		教育実習(幼)	4前		4				1		2		
		教育実習(小)	3後		4		1				2		
		エクスターンⅠ	2前		1			2			1		
		エクスターンⅡ	2後		1			2			1		
		小計(13科目)	—	0	24	0	5	1	3	0	2	0	
専門科目	ライブ開拓領域	キッズイングリッシュⅠ	1前		1				1				
		キッズイングリッシュⅡ	4後		1					1			
		学泉アカデミーA	1前		1					1			
		学泉アカデミーB	1前		1		1						
		学泉アカデミーC	1後		1					1			
		学泉アカデミーD	1後		1		1						
		学泉アカデミーE	2前		1		1						
		学泉アカデミーF	2前		1		1						
		教職保育特論1	2後		1		2	1	3				
		教職保育特論2	2後		1		4	1	2				
		教職保育特論3	3前		1		2	1	3				
		教職保育特論4	3前		1		4	1	2				
		教職保育特論5	3後		1		2	1	3				
		教職保育特論6	3後		1		4	1	2				
		教職保育特論7	4前		1		2	1	3				
		教職保育特論8	4前		1		4	1	2				
小計(16科目)	—	0	16	0	6	2	5	0	0	0			
卒研	卒業研究	4前後		4		6	2	5					
小計(1科目)	—	4	0	0	6	2	5	0	0	0			
合計(148科目)	—	121	115	0	6	2	5	0	2	32			

卒業要件及び履修方法

卒業要件: 共通科目24単位(うち必修科目10単位、外国語分野選択必修2単位以上)、専門科目93単位(うち必修36単位)合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

資格要件: ①保育士と幼稚園教諭一種: 共通科目21単位、専門科目102単位以上。合計123単位以上。②幼稚園教諭一種と小学校教諭一種: 共通科目21単位、専門科目115単位以上。合計136単位以上。③保育士と小学校教諭一種: 共通科目21単位、専門科目135単位以上。合計156単位以上。④保育士と幼稚園教諭一種と小学校教諭一種: 共通科目21単位、専門科目132単位以上。合計153単位以上。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・教職課程認定申請に伴い、「教職入門」「教育制度論」「教育課程論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、「教育心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、「教育経営論」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼任1」に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、「保育内容（健康）」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」「兼任1」に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、「保育内容（人間関係）」「幼児理解」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、「保育内容（環境）」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師1」「兼任1」に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、「保育内容（表現A）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、「社会科教育法」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、「社会科研究」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、「特別活動の指導法」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任2」に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、授業科目の名称を「英語科研究」から「小学校英語」に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、「幼児理解」の配当年次を「3後」から「4後」に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、「生徒指導論」の配当年次を「3前」から「4後」に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、「進路指導論（キャリア教育を含む）」の配当年次を「4後」から「4前」に変更。

【令和3年度】

- ・担当者変更により、「未来をつなぐアウトリーチスタートアップ」「未来をつなぐアウトリーチⅠ・Ⅱ」「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授2」「講師5」から「教授5」「准教授3」「講師4」「助教1」に変更。
- ・担当者変更により、「基礎演習A」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」「准教授1」に変更。
- ・担当者追加により、「基礎演習B」の専任教員等の配置に「准教授1」を追加。
- ・担当者変更により、「基礎演習C」の専任教員等の配置を「講師1」から「助教1」に変更。
- ・担当者変更により、「教育相談（カウンセリングを含む。）」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当者変更により、「子ども家庭支援の心理学」「保育の心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当者変更により、「子ども家庭支援論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・担当者変更により、「保育内容（環境）」の専任教員等の配置を「講師1」「兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者変更により、「保育内容（言葉）」の「兼任1」から専任教員等の配置「准教授1」に変更。
- ・担当者変更により、「保育の計画と評価」の「兼任1」から専任教員等の配置「准教授1」に変更。
- ・担当者変更により、「こどもと人間関係」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当者変更により、「こどもと環境」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者変更により、「こども表現（音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」「助教1」に変更。
- ・担当者変更により、「保育実践演習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」「講師1」に変更。
- ・担当者変更により、「保育実習指導Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者変更により、「保育実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」「助教1」に変更。
- ・担当者変更により、「施設実習」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者変更により、「保育実習指導Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者変更により、「エクスターンⅠ・Ⅱ」の専任教員等の配置に「准教授1」「助教1」を追加。
- ・担当者退職により、「学泉アカデミーA」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼任1」に変更。
- ・担当者変更により、「学泉アカデミーB」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・担当者変更により、「学泉アカデミーC」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼任1」に変更。
- ・担当者変更により、「学泉アカデミーE」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・担当者変更により、「学泉アカデミーF」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・担当者変更により、「教職保育特論1・3・5・7」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」「講師3」から「教授1」「准教授2」「講師2」「助教1」に変更。
- ・担当者の都合により、「教育心理学」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。

【令和4年度】

- ・担当者変更により、「未来をつなぐアウトリーチスタートアップ」「未来をつなぐアウトリーチⅠ・Ⅱ」「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授3」「講師4」「助教1」から「教授5」「准教授4」「講師3」「助教1」に変更。
- ・担当者変更により、「教職保育特論1・3・5・7」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」「講師2」「助教1」から「教授2」「准教授2」「講師1」「助教1」に変更。
- ・担当者変更により、「教職保育特論2・4・6・8」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授1」「講師2」から「教授3」「准教授2」「講師2」に変更。
- ・担当者変更により、「基礎演習A・B」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」「講師1」から「教授1」「准教授2」「講師1」に変更。
- ・担当者変更により、「基礎演習D」の専任教員等の配置を「教授1」「講師1」から「教授1」「講師1」「助教1」に変更。
- ・担当者変更及び昇任により、「専門演習A・B」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」から「教授2」「准教授1」に変更。
- ・担当者変更により、「専門演習D」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1」「講師1」に変更。
- ・担当者追加により、「教育実習（小）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当者の昇任により、「子どもの保健」「乳児保育Ⅰ」「こどもの健康Ⅱ」「教職保育特論Ⅰ」「社会的養護Ⅰ・Ⅱ」「子育て支援」「保育実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当者変更により、「乳児保育Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・担当者追加により、「施設実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・担当者変更により、「保育内容総論」「子どもの健康と安全」の専任教員等の配置を「兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者変更により、「こどもと環境」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・担当者変更により、「保育実践演習」の専任教員等の配置を「教授1」「講師1」から「准教授2」に変更。
- ・担当者変更により、「保育実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師1」「助教1」から「准教授1」「助教1」に変更。
- ・担当者追加により、「保育実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・担当者変更により、「英語」「英会話」「小学校英語」「外国語（英語）教育法」「児童英語」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者の変更により、「教育心理学」の専任教員等の配置を「兼任1」から「准教授1」に変更。また、配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当者的変更により、「保育内容（人間関係）」の専任教員等の配置を「兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者的変更により、「教育相談（カウンセリングを含む。）」「子ども家庭支援の心理学」「保育の心理学」「幼児理解」「こどもと人間関係」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者的変更により、「国語科（含む書写）研究」「国語科教育法」「こども文学」「こども文化」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者変更により、「エクスターンⅠ・Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」「助教1」から「教授1」「准教授2」「助教1」に変更。
- ・担当者的変更により、「生活学概論」「こども生活学Ⅰ」「家庭科研究」「小学家庭」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当者的変更により、「キッズイングリッシュⅠ・Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼任1」に変更。
- ・担当者的変更により、「特別活動の指導法」の専任教員等の配置を「兼任2」から「兼任1」に変更。

【令和5年度】

- ・「心理学」担当者の「講師」から「准教授」への昇任があったが、「兼任」から「兼任」であるため、表記には変更なし。
- ・担当者的変更により、「家族論」の専任教員等配置を「兼任1」から「講師1」に変更。
- ・担当者的変更及び「准教授」から「教授」への昇任により、「未来へつなぐアウトリーチスタートアップ」「未来へつなぐアウトリーチ1・II」の専任教員配置表を「教授5」から「教授4」へ、「講師3」から「講師4」へ変更。
- ・担当者的変更により、「英会話」の専任教員等配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・担当者的変更及び「准教授」から「教授」への昇任により、「基礎演習A・B・C」の専任教員等配置を「講師1」から「講師2」に変更。
- ・担当者的変更により、「専門演習A・B」の専任教員等配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当者的変更により、「教職入門」の専任教員等配置を「兼任1」から「講師1」に変更。
- ・「教育制度論」担当者的変更があったが、「兼任」から「兼任」への変更であるため、表記には変更なし。
- ・担当者的変更により、「教育原理」の専任教員等配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・「教育方法論」担当者的変更があったが、「兼任」から「兼任」への変更であるため、表記には変更なし。
- ・担当者的変更により、「教育課程総論」の専任教員等配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当者的変更により、「特別支援教育論」の専任教員等配置を「兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者的変更により、「教育経営論」の専任教員等配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・担当者的変更により、「ICT実践演習」の専任教員等配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・担当者的変更により、「教職実践演習(幼・小)」の専任教員等配置を「教授2」から「教授0」へ、「准教授2」「助教1」への追加変更。
- ・「社会福祉」担当者的変更があったが、「兼任」から兼任への変更であるため、表記には変更なし。
- ・担当者的変更により、「保育内容(環境)」の専任教員等配置を「准教授1」から「兼任1」へ変更。
- ・担当者的変更により、「保育内容(表現A)」の専任教員等配置を「教授1」から「講師1」へ変更。
- ・担当者的変更により、「保育内容(表現・演劇)」の専任教員等配置を「講師1」から「助教1」へ変更。
- ・担当者的昇任により、「こども文学」「こども文化」「国語科教育法」及び「国語科(含む書写)」の専任教員等配置を「准教授1」から「教授1」へ変更。
- ・担当者的変更により、「こども表現(音楽II)」の専任教員等配置を「講師1」から「准教授1」へ変更。
- ・担当者的変更により、「音楽科教育法」の専任教員等配置を「講師1」から「准教授1」へ変更。
- ・担当者的変更により、「こども表現(音楽III)」の専任教員等配置を「講師1」から「助教1」へ変更。
- ・「図画工作教育法」担当者的変更があったが、「兼任」から「兼任」への変更であるため、表記には変更なし。
- ・担当者的変更により、「家庭科教育法」の専任教員等配置を「兼任1」から「講師1」へ変更。
- ・担当者的変更により、「体育科教育法」の専任教員等配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・「特別活動の指導法」及び「総合的な学習の時間の指導法」担当者的変更があったが、「兼任」から「兼任」への変更であるため、表記には変更なし。
- ・「算数科研究」担当者的変更があったが、「兼任」から「兼任」への変更であるため、表記には変更なし。
- ・担当者的変更により、「音楽科研究」の専任教員等配置を「講師1」から「助教1」へ変更。
- ・担当者的変更により、「教育実習I」の専任教員等配置を「助教1」から「講師1」へ変更。
- ・担当者的変更により、「教育実習指導(幼)」及び「教育実習(幼)」の専任教員等配置を「教授1」から「助教1」へ、「講師1」から「准教授1」へ変更。
- ・担当者的変更により、「教育実習指導(小)」及び「教育実習(小)」の専任教員等配置を「教授1」から「准教授1」へ変更。
- ・担当者的変更により、「ボランティア活動(介護等体験実習)」の専任教員等配置を「講師1」から「准教授1」へ変更。
- ・担当者的変更及び担当者的「教授」への昇任により、「エクスターンI・II」の専任教員等配置を「教授1」から「講師1」へ、「准教授2」から「准教授1」へ、「助教1」から「教授1」へ変更。
- ・「学泉アカデミーA」担当者的変更があったが、「兼任」から「兼任」への変更であるため、表記には変更なし。
- ・担当者的変更により、「教職保育特論2」の専任教員等配置を「教授3」から「教授2」へ、「准教授2」から「准教授3」へ、「講師2」から「講師4」へ変更。
- ・担当者的変更により、「教職保育特論3」の専任教員等配置を「准教授2」から「准教授3」へ、「講師1」から「講師0」へ変更。
- ・担当者的変更により、「教職保育特論4」の専任教員等配置を「教授3」から「教授2」へ、「講師2」から「講師3」へ変更。
- ・担当者的変更により、「教職保育特論5」の専任教員等配置を「准教授2」から「准教授3」へ、「講師1」から「講師0」へ変更。
- ・担当者的変更により、「教職保育特論6」の専任教員等配置を「教授3」から「教授2」へ、「講師2」から「講師3」へ変更。
- ・担当者的変更により、「教職保育特論8」の専任教員等配置を「教授3」から「教授2」へ、「講師2」から「講師3」へ変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
65 科目	83 科目	0 科目	148 科目	65 科目 [0]	83 科目 [0]	0 科目 [0]	148 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						「該当なし」
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						「該当なし」
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{148} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	共用は、愛知学泉短期大学			
	校舎敷地	0 m ²	6,108 m ²	0 m ²	6,108 m ²				
	運動場用地	0 m ²	30,221 m ²	0 m ²	30,221 m ²				
	小 計	0 m ²	36,329 m ²	0 m ²	36,329 m ²				
	そ の 他	0 m ²	16,315 m ²	0 m ²	16,315 m ²				
	合 計	0 m ²	52,644 m ²	0 m ²	52,644 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	共用は、愛知学泉短期大学				
	6,816 m ² (6,816 m ²)	12,125 m ² (12,125 m ²)	7,158 m ² (7,185 m ²)	26,099 m ² (26,099 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	22 室	10 室	14 室	6 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	家政学部 こどもの生活学科		13 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	学科単位での特定不能のため大学全体の数	
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕					点
	家政学部 こどもの生活学科	63,684 [3,461] (76,161 [5,506])	470 [110] (470 [110])	1 [0] (1 [0])	1,361 (1,793)	938 (938)	0 (0)		
	計	63,684 [3,461] (76,161 [5,506])	470 [110] (470 [110])	1 [0] (1 [0])	1,361 (1,793)	938 (938)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	1,654m ²		224		171,690				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	3,762m ²		該当なし						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	※図書購入費及び設備購入費は届出学科全体
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	6,134千円	6,100千円	6,100千円	
	共同研究費等	—	—	設備購入費	3,000千円	3,000千円	3,000千円	※図書購入費にはデータベースの整備費(運用コストを含む)を含む。	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,428千円	1,148千円	1,148千円	1,148千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資産運用収入、雑収入等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に**赤字**で記入してください。
なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	愛知学泉大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
家政学部家政学科											昭和41		令和2年度入学生より学生募集停止					
管理栄養士専攻	4	80	0	320	学士(家政学)	-	-	-	-	-	平成14	愛知県岡崎市袖越町上川成285						
家政学専攻	4	40	0	160	学士(家政学)	-	-	-	-	-	平成14	同上						
こどもの生活専攻	4	70	0	280	学士(家政学)	-	-	-	-	-	平成20	同上						
現代マネジメント学部	4	-	-	-	学士	-	-	-	-	-	平成23	愛知県豊田市大池町汐取1	平成31年度入学生より学生募集停止					
現代マネジメント学科					(現代マネジメント)													
家政学部																		
管理栄養学科	4	80	0	320	学士(家政学)	0.98	-	0.82	-	-	令和2	愛知県岡崎市袖越町上川成285						
ライフスタイル学科	4	40	0	160	学士(家政学)	0.99	-	0.86	-	-	令和2	同上						
こどもの生活学科	4	70	0	280	学士(家政学)	0.63	-	0.56	-	-	令和2	同上						
大学全体	4	190	0	760	-	0.86	-	0.74	-	-	-	-						

大学の名称	愛知学泉短期大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	1	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
生活デザイン総合学科	2	130	-	260	短期大学士(地域総合科学)	1.28	-	1.27	-	-	平成16	愛知県岡崎市袖越町上川成285						
食物栄養学科	2	70	-	140	短期大学士(食物栄養学)	0.88	-	0.89	-	-	昭和25	同上						
幼児教育学科	2	120	-	240	短期大学士(幼児教育学)	0.57	-	0.56	-	-	昭和54	同上						
大学全体	-	320	-	640	-	0.93	-	0.92	-	-	-	-						

大学の名称		「該当なし」								平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	収容定員充足率1.15倍以上の学科数
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍		倍	倍	年度	年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小教点以下第3位を切り捨て、小教点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<家政学部 こどもの生活学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

		【令和2年度】		【令和3年度】		【令和4年度】		【令和5年度】							
兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	<就任(予定)年月>保有学位等	兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	<就任(予定)年月>保有学位等	兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	<就任(予定)年月>保有学位等				
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名					
専	教授	加藤 万也 (57)	<令和2年4月> 芸術教育学修士、Master of Arts こども表現(図画工作A) 学芸アカデミーB 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ1・II こども生活概論 学芸アカデミーD 学芸アカデミーF 図画工作研究A 教職保育特論1※ 保育内容(表現B) こども生活学II 教職保育特論3※ 教職保育特論5※ 図画工作研究B こども表現(図画工作B) 卒業研究	専	教授	加藤 万也 (57)	<令和2年4月> 芸術教育学修士、Master of Arts こども表現(図画工作A) 学芸アカデミーB 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ1・II こども生活概論 学芸アカデミーD 学芸アカデミーF 図画工作研究A 教職保育特論1※ 保育内容(表現B) こども生活学II 教職保育特論3※ 教職保育特論5※ 図画工作研究B こども表現(図画工作B) 卒業研究	専	教授	加藤 万也 (58)	<令和2年4月> 芸術教育学修士、Master of Arts こども表現(図画工作A) 学芸アカデミーB 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ1・II こども生活概論 学芸アカデミーD 学芸アカデミーF 図画工作研究A 教職保育特論1※ 保育内容(表現B) こども生活学II 教職保育特論3※ 教職保育特論5※ 図画工作研究B こども表現(図画工作B) 卒業研究	専	教授	加藤 万也 (60)	<令和2年4月> 芸術教育学修士、Master of Arts こども表現(図画工作A) 学芸アカデミーB 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ1・II こども生活概論 学芸アカデミーD 学芸アカデミーF 図画工作研究A 教職保育特論1※ 保育内容(表現B) こども生活学II 教職保育特論3※ 教職保育特論5※ 図画工作研究B こども表現(図画工作B) 卒業研究
専	教授	久保田 英勲 (44)	<令和2年4月> 博士(教育学) 基礎演習A※ 教職入門 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ1・II 教育原理 教育制度論 教育課程総論 教職保育特論2※ 教職保育特論4※ 教育実習指導(幼)※ 教職保育特論6※ 特別活動の指導法 教職保育特論8※ 卒業研究 教職実践演習(幼・小)	専	教授	水田 隆太郎 (44)	<令和2年4月> 公共教育学士(専門職) 基礎演習A※ 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ1・II 教育原理 教育課程総論 教職保育特論2※ 教職保育特論4※ 教職保育特論6※ 教職保育特論8※ 卒業研究	専	教授	水田 隆太郎 (46)	<令和2年4月> 公共教育学士(専門職) 基礎演習A※ 基礎演習B※ 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ1・II 教育原理 教育課程総論 教育実習(幼)※ 教育実習指導(幼・小)※ 教職実践演習(幼・小)※ 教職保育特論2※ 教職保育特論4※ 教職保育特論6※ 卒業研究	専	教授	水田 隆太郎 (48)	<令和2年4月> 公共教育学士(専門職) 基礎演習A※ 基礎演習B※ 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ1・II 教育原理 教育課程総論 教育実習(幼)※ 教育実習指導(幼・小)※ 教職実践演習(幼・小)※ 教職保育特論2※ 教職保育特論4※ 教職保育特論6※ 卒業研究
									兼	講師	松崎 俊博 (58)	<令和5年4月> 修士(教育学) 基礎演習A※ 基礎演習B※ 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ1・II 教育原理 教育課程総論 教職入門 教職保育特論1※ 教職保育特論2※ 教職保育特論3※ 教職保育特論4※ 教職保育特論5※ 教職保育特論7※ 教育実習1 卒業研究			
専	教授	前田 治 (63)	<令和2年4月> 修士(教育学) 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ1・II 遠徳教育の理論と実践 基礎演習C※ 社会科学研究 基礎演習D※ 教職保育特論2※ 社会科教育法 生徒指導論 教育実習指導(小)※ 専門演習A※ 教職保育特論4※ 教職保育特論6※ 遠徳教育論(小・中・高)教育を含む。) 教職保育特論8※ 卒業研究	専	教授	前田 治 (64)	<令和2年4月> 修士(教育学) 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ1・II 遠徳教育の理論と実践 基礎演習C※ 社会科学研究 基礎演習D※ 教職保育特論2※ 社会科教育法 生徒指導論 教育実習指導(小)※ 専門演習A※ 教職保育特論4※ 教職保育特論6※ 遠徳教育論(小・中・高)教育を含む。) 教職保育特論8※ 卒業研究	専	教授	前田 治 (65)	<令和2年4月> 修士(教育学) 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ1・II 遠徳教育の理論と実践 基礎演習C※ 社会科学研究 基礎演習D※ 教職保育特論2※ 社会科教育法 生徒指導論 教育実習指導(小)※ 専門演習A※ 教職保育特論4※ 教職保育特論6※ 遠徳教育論(小・中・高)教育を含む。) 教職保育特論8※ 卒業研究	専	教授	前田 治 (66)	<令和2年4月> 修士(教育学) 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ1・II 遠徳教育の理論と実践 基礎演習C※ 社会科学研究 基礎演習D※ 教職保育特論2※ 社会科教育法 生徒指導論 教育実習指導(小)※ 専門演習A※ 教職保育特論4※ 教職保育特論6※ 遠徳教育論(小・中・高)教育を含む。) 教職保育特論8※ 卒業研究

兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名		
					小宮 基之 (37) <令和4年4月> 博士(教育学) 英語 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II 英会話 小学校英語 外国語(英語)教育法 教職保育特論1系 教職保育特論3系 教職保育特論5系 教職保育特論7系 児童英語 専門演習C系 専門演習D系 卒業研究				小宮 基之 (37) <令和4年4月> 博士(教育学) 英語 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II 英会話 小学校英語 外国語(英語)教育法 教職保育特論1系 教職保育特論3系 教職保育特論5系 教職保育特論7系 児童英語 専門演習C系 専門演習D系 卒業研究
					新天(龍見) 博暉 (41) <令和4年4月> 博士(心理学) 英語 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II 教育心理学 専門演習A系 専門演習B系 教育習熟(カンパニオンを含む) 子ども発達支援の心理学 保育の心理学 幼児心理 こども人間関係 保育実践演習系 臨床心理学				新天(龍見) 博暉 (41) <令和4年4月> 博士(心理学) 英語 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II 教育心理学 専門演習A系 専門演習B系 教育習熟(カンパニオンを含む) 子ども発達支援の心理学 保育の心理学 幼児心理 こども人間関係 保育実践演習系 臨床心理学
					菅野 基実 (54) <令和4年4月> 教育学士 基礎演習A系 基礎演習(社会等)等実 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II 基礎演習B系 国際科教育法 英語1系 英語2系 英語3系 英語4系 こども文学 教職保育特論5系 こども文学 教職保育特論8系 卒業研究				菅野 基実 (54) <令和4年4月> 教育学士 基礎演習A系 基礎演習(社会等)等実 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II 基礎演習B系 国際科教育法 英語1系 英語2系 英語3系 英語4系 こども文学 教職保育特論5系 こども文学 教職保育特論8系 卒業研究
					伊藤 浩 (34) <令和4年4月> 博士(心理学) 保育の心理学 教育習熟(カンパニオンを含む) こども人間関係 幼児心理 保育実践演習系 臨床心理学 教職保育特論2系 教職保育特論4系 教職保育特論6系 教職保育特論8系 卒業研究				
専 講師	加藤 みゆき (54) <令和2年4月> 修士(言語学) 英語 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II キッズイングリッシュ I 英会話 英語研究 外国語(英語)教育法 教職保育特論1系 教職保育特論3系 教職保育特論5系 教職保育特論7系 児童英語 専門演習C系 卒業研究 キッズイングリッシュ II	専 講師	加藤 みゆき (54) <令和2年4月> 修士(言語学) 英語 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II キッズイングリッシュ I 英会話 英語研究 外国語(英語)教育法 教職保育特論1系 教職保育特論3系 教職保育特論5系 教職保育特論7系 児童英語 専門演習C系 卒業研究 キッズイングリッシュ II	専 講師	加藤 基晴 (55) <令和2年4月> 修士(言語学) 英語 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II キッズイングリッシュ I 英会話 英語研究 外国語(英語)教育法 教職保育特論1系 教職保育特論3系 教職保育特論5系 教職保育特論7系 児童英語 専門演習C系 卒業研究 キッズイングリッシュ II	専 講師	加藤 基晴 (55) <令和2年4月> 修士(言語学) 英語 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II キッズイングリッシュ I 英会話 英語研究 外国語(英語)教育法 教職保育特論1系 教職保育特論3系 教職保育特論5系 教職保育特論7系 児童英語 専門演習C系 卒業研究 キッズイングリッシュ II		
専 講師	加藤 基晴 (38) <令和2年4月> 修士(体育学) 運動の科学 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II 学友アカデミーC 体育実技 こどもの健康1 基礎演習C系 基礎演習D系 教職保育特論1系 体育科研究 教職保育特論3系 教職保育特論5系 教職保育特論7系 児童英語 卒業研究	専 講師	加藤 基晴 (38) <令和2年4月> 修士(体育学) 運動の科学 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II 学友アカデミーC 体育実技 こどもの健康1 基礎演習C系 基礎演習D系 教職保育特論1系 体育科研究 教職保育特論3系 教職保育特論5系 教職保育特論7系 児童英語 卒業研究	専 講師	加藤 基晴 (39) <令和2年4月> 修士(体育学) 運動の科学 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II 学友アカデミーC 体育実技 こどもの健康1 基礎演習C系 基礎演習D系 教職保育特論1系 体育科研究 教職保育特論3系 教職保育特論5系 教職保育特論7系 児童英語 卒業研究	専 講師	加藤 基晴 (39) <令和2年4月> 修士(体育学) 運動の科学 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II 学友アカデミーC 体育実技 こどもの健康1 基礎演習C系 基礎演習D系 教職保育特論1系 体育科研究 教職保育特論3系 教職保育特論5系 教職保育特論7系 児童英語 卒業研究		
専 講師	神谷 裕子 (57) <令和2年4月> 教職修士(専門職) 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II 生活科学研究 生活科教育法 ボランティア活動(介護等体験実習)系 教職保育特論2系 保育内容(環境) こども心理 教職保育特論4系 専門演習A系 教職保育特論6系 専門演習B系 教職保育特論8系 卒業研究 幼小連携	専 講師	神谷 裕子 (57) <令和2年4月> 教職修士(専門職) 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II 生活科学研究 生活科教育法 ボランティア活動(介護等体験実習)系 教職保育特論2系 保育内容(環境)系 こども心理 教職保育特論4系 専門演習A系 教職保育特論6系 専門演習B系 教職保育特論8系 卒業研究 幼小連携	専 講師	神谷 裕子 (57) <令和2年4月> 教職修士(専門職) 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II 生活科学研究 生活科教育法 ボランティア活動(介護等体験実習)系 教職保育特論2系 保育内容(環境)系 こども心理 教職保育特論4系 専門演習A系 教職保育特論6系 専門演習B系 教職保育特論8系 卒業研究 幼小連携	専 講師	神谷 裕子 (57) <令和2年4月> 教職修士(専門職) 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II 生活科学研究 生活科教育法 ボランティア活動(介護等体験実習)系 教職保育特論2系 保育内容(環境)系 こども心理 教職保育特論4系 専門演習A系 教職保育特論6系 専門演習B系 教職保育特論8系 卒業研究 幼小連携		
					英 龍真 (31) <令和4年4月> 博士(教育学) 英語 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II 生活科学研究 こども心理 教職保育特論2系 教職保育特論4系 教職保育特論6系 教職保育特論8系 専門演習C系 小宮 基之 卒業研究 専門演習D系				英 龍真 (31) <令和4年4月> 博士(教育学) 英語 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II 生活科学研究 こども心理 教職保育特論2系 教職保育特論4系 教職保育特論6系 教職保育特論8系 専門演習C系 小宮 基之 卒業研究 専門演習D系
専 講師	安江 真由美 (33) <令和2年4月> 修士(教育学) こども表現(音楽1)系 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II 基礎演習A系 基礎演習B系 こども表現(音楽目)系 保育内容(音楽・演劇) 教職保育特論2系 音楽科研究 音楽科教育法 教職保育特論4系 こども表現(音楽目)系 教育実習(音楽)系 教職保育特論6系 教育実習(音楽)系 教職保育特論8系	専 講師	安江 真由美 (33) <令和2年4月> 修士(教育学) こども表現(音楽1)系 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II 基礎演習A系 基礎演習B系 こども表現(音楽目)系 保育内容(音楽・演劇) 教職保育特論2系 音楽科研究 音楽科教育法 教職保育特論4系 こども表現(音楽目)系 教育実習(音楽)系 教職保育特論6系 教育実習(音楽)系 教職保育特論8系	専 講師	安江 真由美 (34) <令和2年4月> 修士(教育学) こども表現(音楽1)系 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II 基礎演習A系 基礎演習B系 こども表現(音楽目)系 保育内容(音楽・演劇) 教職保育特論2系 音楽科研究 音楽科教育法 教職保育特論4系 こども表現(音楽目)系 教育実習(音楽)系 教職保育特論6系 教育実習(音楽)系 教職保育特論8系 ボランティア活動(介護等体験実習)系 卒業研究	専 講師	安江 真由美 (35) <令和2年4月> 修士(教育学) こども表現(音楽1)系 未来へつなぐアクトリーナスタートアップ 未来へつなぐアクトリーナ1・II 基礎演習A系 基礎演習B系 こども表現(音楽目)系 保育内容(音楽・演劇) 教職保育特論2系 音楽科研究 音楽科教育法 教職保育特論4系 こども表現(音楽目)系 教育実習(音楽)系 教職保育特論6系 教育実習(音楽)系 教職保育特論8系		

兼任・兼担・兼任の別	氏名(年齢) 年/月 保有学位等	兼任・兼担・兼任の別	氏名(年齢) 年/月 保有学位等	兼任・兼担・兼任の別	氏名(年齢) 年/月 保有学位等	兼任・兼担・兼任の別	氏名(年齢) 年/月 保有学位等
職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名
専 講師	安江 真由美 (53) <令和2年4月> 修士(教育学) こども表現(音楽1)※ 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ1・II 基礎演習A※ 基礎演習B※ こども表現(音楽1)※ 保育内容(表現・演劇) 教職保育特論2※ 音楽科学研究 音楽科教育法 教職保育特論4※ こども表現(音楽1)※ 教育実習指導(5)※ 教職保育特論6※ 教育実習(5)※ 教職保育特論8※	専 講師	安江 真由美 (53) <令和2年4月> 修士(教育学) こども表現(音楽1)※ 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ1・II 基礎演習A※ 基礎演習B※ こども表現(音楽1)※ 保育内容(表現・演劇) 教職保育特論2※ 音楽科学研究 音楽科教育法 教職保育特論4※ こども表現(音楽1)※ 教育実習指導(5)※ 教職保育特論6※ 教育実習(5)※ 教職保育特論8※	専 講師	安江 真由美 (54) <令和2年4月> 修士(教育学) こども表現(音楽1)※ 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ1・II 基礎演習A※ 基礎演習B※ こども表現(音楽1)※ 保育内容(表現・演劇) 教職保育特論2※ 音楽科学研究 音楽科教育法 教職保育特論4※ こども表現(音楽1)※ 教育実習指導(5)※ 教職保育特論6※ 教育実習(5)※ 教職保育特論8※ ボクシング指導(少児専科特設演習)	専 准教授	永塚 博哉 (54) <令和2年4月> 教育学修士 修士(人間関係学) 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ1・II 基礎演習A※ こども表現(音楽1)※ 音楽科学研究 音楽科教育法 教職保育特論2※ 教育実習指導(5)※ 教職保育特論4※ こども表現(音楽1)※ 教育実習指導(5)※ 教職保育特論6※ 教育実習(5)※ 教職保育特論8※ 音楽研究
専 講師	白鳥 満子 (65) <令和2年4月> 芸術学士 こども表現(音楽1)※ 音楽アカデミア 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ1・II こども表現(音楽1)※ 基礎演習C※ 教職保育特論1※ 教職保育特論3※ 施設実習 こども表現(音楽1)※ 教職保育特論5※ 教職保育特論7※ 音楽実務 音楽研究	専 講師	白鳥 満子 (65) <令和2年4月> 芸術学士 こども表現(音楽1)※ 音楽アカデミア 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ1・II こども表現(音楽1)※ 基礎演習C※ 教職保育特論1※ 教職保育特論3※ 施設実習 こども表現(音楽1)※ 教職保育特論5※ 教職保育特論7※ 音楽実務 音楽研究	兼任 講師	白鳥 満子 (66) <令和2年4月> 芸術学士 こども表現(音楽1)※ 音楽アカデミア こども表現(音楽1)※	兼任 講師	白鳥 満子 (67) <令和2年4月> 芸術学士 音楽アカデミア こども表現(音楽1)※
兼任 教授(中務)	安藤 明美 (61) <令和2年4月> 修士(保健衛生学) 保健学方向指導 近藤 高明 (64) <令和3年4月> 修士(教育学) 教育方法論 総合的な学習時間の指導法	兼任 教授(中務)	安藤 明美 (61) <令和2年4月> 修士(保健衛生学) 保健学方向指導 近藤 高明 (64) <令和3年4月> 修士(教育学) 教育方法論 総合的な学習時間の指導法	兼任 教授(中務)	安藤 明美 (62) <令和2年4月> 修士(保健衛生学) 保健学方向指導 近藤 高明 (64) <令和3年4月> 修士(教育学) 教育方法論 総合的な学習時間の指導法	兼任 教授(中務)	安藤 明美 (63) <令和2年4月> 修士(保健衛生学) 保健学方向指導 近藤 高明 (64) <令和3年4月> 修士(教育学) 教育方法論 総合的な学習時間の指導法 岩瀬 第一 (63) <令和4年4月> 修士(学術) 教育方法論 総合的な学習時間の指導法 特別演習の指導法
兼任 教授	浦田 薫子 (63) <令和2年4月> 教育学博士 日本語1 日本語目	兼任 教授	浦田 薫子 (63) <令和2年4月> 教育学博士 日本語1 日本語目	兼任 教授	浦田 薫子 (64) <令和2年4月> 教育学博士 日本語1 日本語目	兼任 教授	浦田 薫子 (64) <令和2年4月> 教育学博士 日本語1 日本語目
兼任 教授	福田(仮) 裕子 (48) <令和1年10月> 博士(学術) 防災福祉	兼任 教授	福田(仮) 裕子 (46) <令和1年10月> 博士(学術) 防災福祉	兼任 教授	福田(仮) 裕子 (47) <令和1年10月> 博士(学術) 防災福祉	兼任 教授	福田(仮) 裕子 (47) <令和1年10月> 博士(学術) 防災福祉
兼任 教授	橋本 幸宏 (63) <令和2年10月> 教育学修士 生活経済論	兼任 教授	橋本 幸宏 (63) <令和2年10月> 教育学修士 生活経済論	兼任 教授	橋本 幸宏 (64) <令和2年10月> 教育学修士 生活経済論	兼任 教授	橋本 幸宏 (64) <令和2年10月> 教育学修士 生活経済論
兼任 准教授	堀田 英夫 (49) <令和4年4月> 修士(法学) 日本国憲法	兼任 准教授	堀田 英夫 (47) <令和4年4月> 修士(法学) 日本国憲法	兼任 准教授	堀田 英夫 (48) <令和4年4月> 修士(法学) 日本国憲法	兼任 准教授	堀田 英夫 (48) <令和4年4月> 修士(法学) 日本国憲法
兼任 講師	眞原 雅恵 (58) <令和1年10月> 博士(メディア学) 社会学	兼任 講師	眞原 雅恵 (58) <令和1年10月> 博士(メディア学) 社会学	兼任 教授	北本(明川) 暢子 (61) <令和2年10月> 文学修士 五論学	兼任 教授	北本(明川) 暢子 (62) <令和2年10月> 文学修士 五論学
兼任 講師	田中 大 (53) <令和4年4月> 修士(社会科学) 心理学	兼任 講師	田中 大 (52) <令和4年4月> 修士(社会科学) 心理学	兼任 講師	田中 大 (52) <令和4年4月> 修士(社会科学) 心理学	兼任 講師	田中 大 (52) <令和4年4月> 修士(社会科学) 心理学
兼任 講師	坪田 雅基 (30) <令和2年4月> 修士(心理学) 心理学	兼任 講師	坪田 雅基 (30) <令和2年4月> 修士(心理学) 心理学	兼任 講師	坪田 雅基 (30) <令和2年4月> 修士(心理学) 心理学	兼任 講師	坪田 雅基 (30) <令和2年4月> 修士(心理学) 心理学
兼任 講師	見土 真美 (61) <令和2年4月> 修士(実践教育学) 保育内容(音楽) こども音楽	兼任 講師	見土 真美 (61) <令和2年4月> 修士(実践教育学) 保育内容(音楽) こども音楽	兼任 講師	山岡 龍平 (41) <令和2年4月> 修士(心理学) 教育心理学 見土 真美 (62) <令和2年4月> 修士(実践教育学)	兼任 准教授	山岡 龍平 (42) <令和2年4月> 修士(心理学) 心理学 見土 真美 (63) <令和2年4月> 修士(実践教育学)

兼任・兼担・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	兼任・兼担・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	兼任・兼担・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	兼任・兼担・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
			角野 真彦 <令和3年4月> 修士 生物材料教育 社会科研究				
			日野 真剛 (44) <令和4年4月> 修士(学校教育学) 社会科教育法				
			福原 新江 (68) <令和3年10月> 修士(教育学) 生物材料教育 社会科研究				
			藤村 美子 (72) <令和3年10月> 博士(学校教育学) 特別前線の指導実践				
			岡野 新一 (68) <令和3年10月> 修士(教育学) 特別前線の指導実践				
			河野 真次 (61) <令和3年4月> 専攻アカデミー				
			石川 美穂 (60) <令和3年10月> 修士(教育学) 専攻アカデミー				
			原田 第一篤 (60) <令和3年4月> 修士(経済学) 専攻アカデミー				
			山本 マサ (48) <令和3年4月> なし 専攻アカデミー				
			原川(原田) 智子 (60) <令和3年4月> 修士(文学) Master of arts 日本画Ⅰ 日本画Ⅱ				
			村上 七帆 (61) <令和3年10月> 修士(経済学) 生物材料教育				
			河野 真次 (60) <令和4年4月> 修士(生物) 日本画講座				
			伊藤 久美子 (61) <令和4年4月> 修士(文学) 修士(教育学) こども文化				
			伊藤(原田) 智子 (41) <令和4年4月> フアンク文化史 英大修士 キッズイングリッシュⅠ キッズイングリッシュⅡ				
			永野 真次 (60) <令和4年4月> 教育学修士 社会科研究				
			藤村 新江 (67) <令和3年10月> 修士(教育学) 生物材料教育 生物科教育法				
			河野 真次 (62) <令和3年4月> 専攻アカデミー				
			石川 美穂 (60) <令和3年10月> 修士(教育学) 専攻アカデミー				
			原田 第一篤 (60) <令和3年4月> 修士(経済学) 専攻アカデミー				
			山本 マサ (48) <令和3年4月> なし 専攻アカデミー				
			原川(原田) 智子 (61) <令和3年4月> 修士(文学) Master of arts 日本画Ⅰ 日本画Ⅱ				
			村上 七帆 (62) <令和3年10月> 修士(経済学) 生物材料教育				
			河野 真次 (61) <令和4年4月> 修士(生物) 日本画講座				
			伊藤 久美子 (62) <令和4年4月> 修士(文学) 修士(教育学) 教育内務(経済)				
			伊藤(原田) 智子 (41) <令和4年4月> フアンク文化史 英大修士 キッズイングリッシュⅠ キッズイングリッシュⅡ				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 認可申請又は教育審出願の締切時刻(その日の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任・兼担教員を含む。)を赤字で記入してください。
 ・ 各員の作成方法は「大学の設置等に係る届出業務の手引き」の「職員名簿」を参照してください。
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の年齢**を記入してください。
 ・ 兼任(専門職大学別は専・実専・実(研)・実(公)・兼任)兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の兼任は適宜削除し、認めてください。

(1) ①-②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・久保田教授就任辞退により、後任として木田教授が就任。令和2年4月。
- ・教職課程認定申請に伴い、「教職入門」「教育制度論」「教育課程総論」の担当者を久保田教授(専任)から片山講師(兼任)に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、「教育心理学」の担当者を平宮教授(専任)から山田講師(兼任)に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、「保育内容(人間関係)」「幼児理解」の担当者を平宮教授(専任)から井手講師(兼任)に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、「教育経営論」の担当者を神谷講師(専任)から片山講師(兼任)に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、「保育内容(健康)」の担当者を鳩教授(専任)から黒谷准教授(専任)及び内田講師(兼任)に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、「保育内容(環境)」の担当者を神谷講師(専任)から神谷講師(専任)及び梶原講師(兼任)に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、「保育内容(表現A)」の担当者を黒谷准教授(専任)から鳩教授(専任)に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、「社会科教育法」の担当者を前田教授(専任)から白井講師(兼任)に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、「社会科研究」の担当者を前田教授(専任)から中村講師(兼任)に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、「教職実践演習(幼・小)」の担当者を前田教授(専任)から前田教授(兼任)に変更。
- ・教職課程認定申請に伴い、「特別活動の指導法」の担当者を久保田教授(専任)から藤村講師(兼任)及び加藤講師(兼任)に変更。
- ・和田講師(兼任)の就任辞退により、「算数科研究」「小学算数」の担当者を花木講師(兼任)に、「算数科教育法」の担当者を河崎講師(兼任)に変更。
- ・多賀講師(兼任)の就任辞退により、「情報リテラシー・II」の担当者を成田講師(兼任)に変更。

【令和3年度】

- ・平宮教授(専任)辞任に伴い、伊藤講師(専任)が就任。
- ・神谷講師(専任)辞任に伴い、田村准教授(専任)が就任。
- ・白鳥講師(専任)辞任に伴い、渡辺助教(専任)が就任。
- ・「保育の心理学」「教育相談(カウンセリングを含む。)」 「子ども人間関係」「子ども家庭支援の心理学」「保育実践演習」の担当者を平宮教授(専任)から伊藤講師(専任)に変更。
- ・「保育実習指導I・II」の担当者を平宮教授(専任)から田村准教授(専任)に変更。
- ・「子ども家庭支援論」の担当者を平宮教授(専任)から山崎講師(兼任)に変更。
- ・「基礎演習B」の担当として木田教授(専任)を追加。
- ・「教職保育特論2、4、6、8」(オムニバス)の担当者を神谷講師(専任)から伊藤講師(専任)に変更。
- ・「幼児理解」の担当者を井手講師(兼任)から伊藤講師(専任)に変更。
- ・「未来へつなぐアクトリテスタートアップ」「未来へつなぐアクトリテ」の担当者を神谷講師(専任)から田村准教授(専任)に変更。
- ・「幼小連携」の担当者を神谷講師(専任)から梅田講師(兼任)に変更。
- ・「ボランティア活動(介護等体験実習)」の担当者を神谷講師(専任)から安江講師(専任)に変更。
- ・「基礎演習A、B」(オムニバス)の担当者を平宮教授(専任)から田村准教授(専任)に変更。
- ・「保育内容(環境)」の担当者を神谷講師(専任)及び梶原講師(兼任)から田村准教授(専任)に変更。
- ・「子ども環境」の担当者を神谷講師(専任)から田村准教授(専任)に変更。
- ・「保育内容(言葉)」の担当者を児玉講師(兼任)から田村准教授(専任)に変更。
- ・「保育の計画と評価」の担当者を山崎講師(兼任)から田村准教授(専任)に変更。
- ・「エクスターンI、II」の担当として田村准教授(専任)と渡辺助教(専任)を追加。
- ・「教職保育特論1、3、5、7」(オムニバス)の担当者を平宮教授(専任)から田村准教授(専任)に変更。
- ・「保育実習I」の担当者を平宮教授(専任)から加藤講師(専任)及び渡辺助教(専任)に変更。
- ・白鳥講師(専任)は、兼任講師として「学泉アカデミーA」「子ども表現(音楽I、II、III)」を継続担当。
- ・「未来へつなぐアクトリテスタートアップ」「未来へつなぐアクトリテ」の担当者を白鳥講師(専任)から渡辺助教(専任)に変更。
- ・「基礎演習C、D」(オムニバス)の担当者を白鳥講師(専任)から渡辺助教(専任)に変更。
- ・「教職保育特論1、3、5、7」(オムニバス)の担当者を白鳥講師(専任)から渡辺助教(専任)に変更。
- ・「子ども表現(音楽I、II、III)」「児童音楽」の担当者を白鳥講師(専任)から渡辺助教(専任)に変更。
- ・「社会学」の担当者を西原講師(兼任)から近本教授(兼任)に変更。
- ・「心理学」の担当者を研田講師(兼任)から山田講師(兼任)に変更。
- ・「理科研究」「理科教育法」の担当者を川角講師(兼任)から山内講師(兼任)に変更。
- ・「算数科教育法」の担当者を河崎講師(兼任)から花木講師(兼任)に変更。
- ・「生活科研究」の担当者を神谷講師(専任)から澤田講師(兼任)に変更。
- ・「生活科教育法」の担当者を神谷講師(専任)から角谷講師(兼任)に変更。
- ・中村講師(兼任)の就任辞退により、「社会科研究」の担当者を角谷講師(兼任)に変更。
- ・「学泉アカデミーB」の担当者を加藤教授(専任)から阿部講師(兼任)に変更。
- ・「学泉アカデミーC」の担当者を加藤講師(専任)から石川講師(兼任)に変更。
- ・「学泉アカデミーE」の担当者を鳩教授(専任)から柴田講師(兼任)に変更。
- ・「学泉アカデミーF」の担当者を加藤教授(専任)から山中講師(兼任)に変更。

【令和4年度】

- ・山田教授(専任)辞任に伴い、宮武准教授(専任)に担当者変更。
- ・加藤講師(専任)辞任に伴い、小倉准教授(専任)に担当者変更。ただし「キッズイングリッシュI・II」の担当者は伊藤講師(兼任)に変更。
- ・西川准教授(専任)辞任に伴い、長講師(専任)に担当者変更。
- ・伊藤講師(専任)辞任に伴い、信太准教授(専任)が就任。
- ・黒谷准教授(専任)が教授(専任)に昇任。
- ・「教育実習(小)」の担当として前田教授(専任)を追加。
- ・「専門演習D」の担当として小倉准教授(専任)を追加。
- ・「教職実践演習(幼・小)」の担当者を前田教授(専任)から木田教授(専任)及び鳩教授(専任)に変更。
- ・「保育実践演習」の担当者を鳩教授(専任)及び伊藤講師(専任)から田村准教授(専任)に変更。
- ・「乳児保育II」の担当者を山崎講師(兼任)から黒谷教授(専任)に変更。
- ・「子ども環境」の担当者を田村准教授(専任)から伊藤講師(兼任)に変更。
- ・「保育内容総論」「子どもの健康と安全」の担当者を山崎講師(兼任)から田村准教授(専任)に変更。
- ・「保育実習I」の担当者を加藤講師(専任)から田村准教授(専任)に変更。
- ・「保育実習II」の担当として田村准教授(専任)を追加。
- ・「教育心理学」の担当者を山田講師(兼任)から信太准教授(専任)に変更。
- ・「保育内容(人間関係)」の担当者を井手講師(兼任)から信太准教授(専任)に変更。
- ・「施設実習」の担当として信太准教授(専任)を追加。
- ・近藤教授(兼任)の辞任に伴い、「教育方法論」「総合的な学習時間の指導法」の担当者を竹澤教授(兼任)に変更。
- ・藤村講師(兼任)及び加藤講師(兼任)の就任辞退により、「特別活動の指導法」の担当者を竹澤教授(兼任)に変更。
- ・浦田教授(兼任)の辞任に伴い、「日本語I・II」の担当者を西川講師(兼任)に変更。
- ・塚田教授(兼任)の辞任に伴い、「社会福祉」の担当者を谷村講師(兼任)に変更。
- ・濱本教授(兼任)の辞任に伴い、「生活経済論」の担当者を村上講師(兼任)に変更。
- ・栗山准教授(兼任)の辞任に伴い、「日本国憲法」の担当者を漆畑講師(兼任)に変更。
- ・田中講師(兼任)の辞任に伴い、「家族論」の担当者を近本教授(兼任)に変更。
- ・「ハンゲル」の担当者を白講師(兼任)から金講師(兼任)に変更。
- ・高木講師(兼任)の就任辞退により、「地域子育て支援」の担当者を小田講師(兼任)に変更。
- ・伊澤講師(兼任)の就任辞退により、「家庭教育法」の担当者を田代講師(兼任)に変更。
- ・「算数科研究」「小学算数」の担当者を花木講師(兼任)から小西講師(兼任)に変更。
- ・「社会科研究」の担当者を角谷講師(兼任)から水野講師(兼任)に変更。
- ・白井講師(兼任)の就任辞退により、「社会科教育法」の担当者を水野講師(兼任)に変更。
- ・「生活科教育法」の担当者を角谷講師(兼任)から澤田講師(兼任)に変更。

【令和5年度】

- ・木田教授(専任)の辞任に伴い、松橋講師(専任)に担当者変更。ただし、「教育実習(幼)」「教育実習指導(幼)」を渡辺助教(専任)、「教職実践演習(幼)」「教職保育特論6」「教職保育特論8」の担当を永津准教授、「教職実践演習(小)」の担当を小倉准教授に変更。
- ・片山講師(兼任)の辞任に伴い、「教職入門」担当者を松橋講師(専任)に変更。さらには、学科内で調整した「教職保育特論1・3・5・7」も松橋講師(専任)が新たに担当するよう変更。
- ・片山講師(兼任)の辞任に伴い、「教育経営論」の担当者を前田教授(専任)に変更。
- ・鳩教授(専任)の辞任に伴い、高田講師(専任)に担当者変更。ただし、「教育実習(小)」「教育実習指導(小)」を小倉准教授(専任)、「ICT実践演習」を江島講師(兼任)に変更。
- ・「保育内容(環境)」の担当者を田村准教授(専任)から伊藤講師(兼任)に変更。
- ・「エクスターンII」「教職保育特論I」の担当者を田村准教授(専任)から永津准教授(専任)に変更。
- ・「英会話」の担当者を小倉准教授(専任)からトーマス・ベンジャミン講師(兼任)に変更。
- ・宮武准教授(専任)が教授(専任)に昇任。
- ・「家族論」の担当者を近本教授(兼任)から、「家庭教育法」の担当者を田代講師(兼任)から長講師(専任)に変更。
- ・安江講師(専任)の辞任に伴い、永津准教授(専任)に担当者変更。ただし、「保育内容(表現・演劇)」「音楽科研究」「子ども表現(音楽III)」の担当を渡辺助教(専任)に変更。
- ・白鳥講師(兼任)の辞任に伴い、「学泉アカデミーA」の担当者を五十嵐講師(兼任)に変更。
- ・竹澤教授(兼任)の辞任に伴い、小野教授(専任)に担当者変更。
- ・山田講師(兼任)が准教授(兼任)に昇任。
- ・「社会福祉」担当者を谷村講師(兼任)から松井講師(兼任)に変更。
- ・「特別支援活動論」の担当者を谷村講師(兼任)から永津准教授(専任)に変更。
- ・磯部講師(兼任)の辞任に伴い、「図画工作教育法」担当者を遠尾講師(兼任)に変更。
- ・片山講師(兼任)の辞任に伴い、「教育制度論」の担当者を服部講師(兼任)に変更。
- ・小西講師(兼任)の辞任に伴い、「算数科研究」の担当者を花木講師(兼任)に変更。

(注) 変更内容を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

● **置換で配置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A/C教員審査)を受けてください。**A/C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**

● A/C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

● なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

● 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
	7
	4
	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
6	2	5	0	13	2	4	4	4	1	13	2
(6)	(2)	(5)	(0)	(13)	(2)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
4	4	4	1	13	2	4	4	4	1	13	2
[Δ2]	[2]	[Δ1]	[1]	[0]	0	[Δ2]	[2]	[Δ1]	[1]	0	0

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{13}{13} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{13} = \boxed{7.69} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{2}{2} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由科目	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	久保田 英助	R1.7	必修	基礎演習A※	①	R1.7 家庭の事情のため就任辞退（2）			
				必修	教職入門	②				
				必修	未来へつなぐアウトリーチスタートアップ	①				
				必修	未来へつなぐアウトリーチ 1・II	①				
				必修	教育原理	①				
				必修	教育制度論	②				
				必修	教育課程総論	②				
				選択	教職保育特論2※	①				
				選択	教職保育特論4※	①				
				選択	教育実習指導（幼）※	①				
				選択	教職保育特論6※	①				
				必修	特別活動の指導法	②				
				選択	教職保育特論8※	①				
				必修	卒業研究	①				
選択	教職実践演習（幼・小）	①								
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
1	人	必修	9	科目	必修	5	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	15	科目	計	11	科目	計	4	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---------------------------------|
| ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 |
| ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 |
| ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由科目	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由					
1	教授	平宮 正志	R2.9	必修	基礎演習A※	①	R2.9.30付け一身上の都合により辞任（2）					
				必修	未来へつなぐアウトリーチスタートアップ	①						
				必修	未来へつなぐアウトリーチ	①						
				必修	保育の心理学	①						
				必修	基礎演習B※	①						
				必修	子ども家庭支援論	②						
				選択	教職保育特論1※	①						
				選択	保育実習 I	①						
				選択	保育実習指導 I	①						
				必修	教育相談（カウンセリングを含む）	①						
				選択	教職保育特論3※	①						
				選択	こどもと人間関係	①						
				選択	教職保育特論5※	①						
				選択	保育実習指導 II	①						
				選択	教職保育特論7※	①						
				選択	保育実践演習※	①						
				必修	卒業研究	①						
必修	子ども家庭支援の心理学	①										
2	講師	神谷 裕子	R3.3	必修	未来へつなぐアウトリーチスタートアップ	①	R3.3.31付け任期満了のため辞任（3）					
				必修	未来へつなぐアウトリーチ	①						
				必修	生活科研究	②						
				選択	生活科教育法	②						
				選択	ボランティア活動（介護等体験実習）	①						
				選択	教職保育特論2※	①						
				必修	保育内容（環境）	①						
				選択	こどもと環境	①						
				選択	教職保育特論4※	①						
				必修	専門演習A※	①						
				選択	教職保育特論6※	①						
				必修	専門演習B※	①						
				選択	教職保育特論8※	①						
				必修	卒業研究	①						
				選択	幼小連携	②						
				3	准教授	西川 愛子		R4.3	必修	未来へつなぐアウトリーチスタートアップ	①	R4.3.31付け他大学移籍のため辞任（4）
									必修	未来へつなぐアウトリーチ	①	
必修	生活学概論	①										
必修	子ども生活学 I	①										
選択	教職保育特論2※	①										
選択	教職保育特論4※	①										
必修	家庭科研究	①										
選択	教職保育特論6※	①										
選択	教職保育特論8※	①										
必修	専門演習C※	①										
選択	小学家庭	①										
必修	卒業研究	①										
必修	専門演習D	①										

4	講師	加藤 みゆき	R4.3	選択	英語	①	R4.3.31付け任期満了のため辞任(4)						
				必修	未来へつなぐアクトリーキースタートアップ	①							
				必修	未来へつなぐアクトリーチ	①							
				選択	キッズイングリッシュ I	②							
				選択	英会話	①							
				必修	小学校英語	①							
				必修	外国語(英語)教育法	①							
				選択	教職保育特論1※	①							
				選択	教職保育特論3※	①							
				選択	教職保育特論5※	①							
				選択	教職保育特論7※	①							
				選択	児童英語	①							
				必修	専門演習C※	①							
				必修	卒業研究	①							
選択	キッズイングリッシュ II	②											
5	教授	木田 竜太郎	R5.3	必修	基礎演習A※	①	R5.3.31付け任期満了による辞任(5)						
				必修	基礎演習B※	①							
				必修	未来へつなぐアクトリーキースタートアップ	①							
				必修	未来へつなぐアクトリーチ I・II	①							
				必修	教育原理	①							
				必修	教育課程総論	①							
				選択	教職保育特論2※	①							
				選択	教職保育特論4※	①							
				必修	卒業研究	①							
				選択	教職保育特論6※	①							
				選択	教職保育特論8※	①							
				選択	教職実践演習(幼・小)※	①							
				選択	教育実習指導(幼)※	①							
				選択	教育実習(幼)※	①							
6	講師	安江 真由美	R5.3	選択	こども表現(音楽 I)※	①	R5.3.31付け任期満了による辞任(5)						
				必修	未来へつなぐアクトリーキースタートアップ	①							
				必修	未来へつなぐアクトリーチ I・II	①							
				必修	基礎演習A※	①							
				必修	基礎演習B※	①							
				選択	こども表現(音楽 II)※	①							
				必修	保育内容(表現・演劇)	①							
				選択	教職保育特論2※	①							
				必修	音楽科研究	①							
				選択	音楽科教育法	①							
				選択	教職保育特論4※	①							
				選択	こども表現(音楽 III)※	①							
				選択	教育実習指導(幼)※	①							
				選択	教職保育特論6※	①							
選択	教育実習(幼)※	①											
選択	教職保育特論8※	①											
選択	ボランティア活動(介護等体験実習)	①											
必修	卒業研究	①											
合計(F)				後任補充状況の集計(G)									
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)					
6	人	必修	44	科目	必修	42	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	49	科目	選択	45	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	93	科目	計	87	科目	計	6	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担当員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)-③ 上記(3)-①・(3)-②の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)									
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)					
7	必修	53	科目	必修	47	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
	選択	55	科目	選択	51	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	108	科目	計	98	科目	計	10	科目	計	0	科目

(3)-④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{7}{13} = 53.84\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)-⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

2人

- (注) ・ (3)-①、(3)-②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D)+(F)と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
5	教授	塙 佐敏	必修	R5. 3. 31付65歳で定年退職	①	R5. 3. 31付65歳で定年退職 (5)							
			必修	R5. 3. 31付65歳で定年退職	①								
			選択	エクスターン I ※	①								
			選択	エクスターン II ※	①								
			選択	教職保育特論2 ※	①								
			選択	体育科教育法	①								
			必修	専門演習 A ※	①								
			選択	教育実習指導(小) ※	①								
			選択	教育実習(小) ※	①								
			必修	専門演習 B ※	①								
			選択	教職保育特論4 ※	①								
			選択	教職保育特論6 ※	①								
			選択	教職保育特論8 ※	①								
			必修	ICT実践演習	②								
			必修	保育内容(表現A)	①								
			選択	教職実践演習(幼・小)	①								
			必修	卒業研究	①								
合計			後任補充状況の集計										
辞任した教員数			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)						
1	人	必修	7	科目	必修	6	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	10	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	17	科目	計	16	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 定年による退職でもあり、早期から教員採用活動を開始した。学生に対しては、担当教員及び学科長から事前に連絡がされていたため、教学上、学生生活上での問題も生じることなく円滑に行われた。新任教員は年度初めのオリエンテーションで紹介をし、4月当初に担当する学生との面談を行い、コミュニケーションを図るよう取組んだ。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
認可時 (令和元年度)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。(家政学部こどもの生活学科)	【届出】 遵守事項 令和3年度は、定年規程に定める退職年齢に達した専任教員1名が退職した。引き続き、教員組織編成の年齢バランスを考慮し、教員補充を進めていく。	履行中 学科の教育課程上、必要な教員の教育研究実績等を踏まえ、教育研究の継続性に支障のないよう教員補充を行っていく。
設置計画履行状況 調査結果 (令和2年度)	・教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(家政学部こどもの生活学科)	【AC】 指摘事項 (改善) 学生確保に向けたあらゆる取り組み(系列校及び教育連携校との協議、入試説明会、高校訪問、オープンキャンパス等)を実施した結果、令和3年度の定員超過率0.75倍となり、昨年度の0.37倍から改善したものの、適切な入学者の確保には結びついていない状況である。	履行中 次年度入試においても、学生確保に向けた取り組みを継続し、適正な入学者の獲得に全力を尽くす。
設置計画履行状況 調査結果 (令和3年度)	・教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(家政学部こどもの生活学科)	【AC】 指摘事項 (改善) 教育内容の充実を図り、教員採用試験の合格者の増加を目指し一般教養、論文・面接指導を行った結果小学校教員4名、幼稚園教諭・保育士20名で卒業生の9割は教員および福祉関係に就職している。また2022年度における系列校及び教育連携校との具体的な活動を立案、入試説明会、高校訪問、オープンキャンパス等を実施した結果、令和4年度の定員超過率0.66倍で、一昨年度より改善をしたが、適切な入学者の確保には結びついていない状況である。	履行中 次年度は、教育内容の充実をさらに図り、入試においても、学生確保に向けた取り組みを継続し、適正な入学者の獲得に全力を尽くす。
設置計画履行状況 調査結果 (令和4年度)	・教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(家政学部こどもの生活学科)	【AC】 指摘事項 (改善) 教育内容の充実をさらに図った結果、専門職として就職した学生の増加につながった(小学校教員8名、幼稚園教諭・保育士24名)。この活動と共に、学生確保に向けた新たな取組みとして、系列高校との単位互換制度新設、オープンキャンパス実施方法の改善、高校訪問の拡充等を行った。その結果、令和5年度の入学定員超過率は0.74倍と前年よりは向上したが、依然回復したとは言えない状況である。	履行中 現在、当該学科のみならず、大学の教育活動を広報するため、SNSを活用した広報活動に重点を置き、高校生へのアピール力を強化する取組みを展開している。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<家政学部 こどもの生活学科>

(1) 設置計画変更事項等 【該当なし】

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知学泉大学内部質保証委員会規程 ・愛知学泉大学FD委員会規程 ※別紙関係規程 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知学泉大学内部質保証委員会 構成員：学長(委員長)、副学長、学部長、各学科長、教務委員長、学生委員長、就職委員長、事務局長、事務長 学長が委員長として、第3クールの日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受ける準備として開催。 ・愛知学泉大学FD委員会は、FD委員会規程の活動内容について毎月開催。 構成員：学長(委員長)、副学長、学部長、教務委員長、各学科長、事務局長、事務長、IR室長、教務課職員 学部長が中心になってWGを組織し、効率的にFD活動を実施している。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知学泉大学愛知学泉大学内部質保証委員会 日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価への対応、大学独自の外部評価に関する事項 ・3つのポリシー委員会 3つのポリシーの検証、アセスメントポリシーの評価・改善について ・愛知学泉大学FD委員会 授業アンケート実施について 学部における組織的な研修会の実施について <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価基準6項目にわたる自己点検・評価活動・各基準の担当者を決め、令和3年度の各種資料データ収集と報告書の作成準備をしている。 2. アセスメントポリシーは、内部質保証委員会で機関レベル・教育課程レベル・科目レベルの評価をしている。 3. 「学生による授業評価アンケート」については、③に記述する。 4. 公開授業については、FD委員会を中心に対面授業におけるpisa型学力の授業について実施した。全教員が参加している。 5. 新任教員研修は、研修後に新任者研修レポートを作成し、対象教員全員が提出している。 6. 教員の研究・教育活動報告は、2022年度T・Pを全教員が2021年度版をブラッシュアップした。その後、FD委員会で内容確認後HPで公表している。 7. 安城学園報告討論会は、約300名の教職員が参加し、大学、短期大学、高等学校、幼稚園の教育研究活動の現状を把握することで個々の教職員の教育活動の質の改善を図っている。しかし、コロナウイルス感染症予防の観点より全大会の開催を見送りとしている。 9. 学生対応のためのFD研修会を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・休学者、退学者の減少に向けて、学生への向き合い方に関する教職協働による研修会を開催し、大学及び短大全教職員が参加した。 ・2023年度シラバスの充実を図る研修会を実施し、全教員が参加している。
--

b 実施方法

1. 日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価基準6項目（基準1 使命・目的等、基準2 学生、基準3 教育課程、基準4 教員・職員、基準5 経営・管理と財務、基準6 内部質保証）にわたる自己点検・評価活動を実施し、「愛知学泉大学自己評価報告書」を作成してHPで公表。
2. アセスメントポリシーは、機関レベル・教育課程レベル・科目レベルで評価。
3. 「学生による授業評価アンケート」は、前後期、全開講科目を対象にマークシートおよび自由記述で実施。
4. 教員間の公開授業は、毎学期、テーマをきめて全教員を対象に実施している（非対面授業（遠隔）におけるpisa型学力の授業展開）。
5. 教員研修は、毎年4月上旬に新任者研修会を実施し、理事長、学部長、事務局長による研修を実施。
6. 教員の研究・教育活動報告は、ティーチング・ポートフォリオ（T・P）、教育研究報告を作成。
7. 安城学園報告討論会は、令和4（2022）年度は新型コロナ感染予防より全大会の開催を中止とした。
8. 学生対応のためのFD研修会は、大学所属のカウンセラーによる学生の現状、対応方法に事例に基づき、全教職員が出席して実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. 愛知学泉大学愛知学泉大学内部質保証委員会は不定期に年6回開催した。規程による構成員だけでなく、関係の分掌（教務課、学生課、総務課等）から出席をし、教職協働で会務に当たるようにしている。
2. 愛知学泉大学FD委員会が主催した「シラバスの充実を図る研修会」には、全教員と教務課、I R室員が参加した。また、「休学者・退学者減少に向けた研修会」は大学及び短期大学の全教職員が参加して開催した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・内部質保証に向けた取組みとして、年度の事業計画を検証し直し、修正を加えるなどPDCAサイクルを実践した。
- ・授業への改善は、上記の実施結果を経て、FD委員会を中心にして組織的、個別的に行っている。
- ・卒業認定にGPAの活用を検討し、2022年度のFD委員会ではGPA1.0以上を提案した。
- ・成績評価の平準化を検討している。2020年度のFD委員会では過去5年間の全科目の成績評価のGPAを算出し、秀、優、良、可、不可の割合をそれぞれ、10%、30%、35%、25%とした。
- ・全教員に「教育・研究活動に関する事業報告書」より、次年度の改善計画を作成し、実施している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・授業評価アンケートは、全開講科目で実施している。実施時期は前期・後期ともに14週から15週の授業時に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・教員による授業評価アンケート結果を元に授業改善のリフレクションペーパーを作成している。
- 授業評価アンケートは、全開講科目を対象として実施、その後、数値データを集計して結果を出し、各授業に対して出された評価に対して科目担当教員は、評価を1レベル上げる授業改善のリフレクションペーパーを作成、その後、冊子として学生が閲覧できるように図書館窓口と教務課窓口で常置している。
- ・各学科の授業評価アンケートの結果と授業改善報告はHPで公表している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 「該当なし」

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況 (回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学の自己点検・評価は、平成29年度の日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審した。評価の結果、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合していると認定された。

総評

「基準1. 使命・目的等」について

大学は、経済的・政治的・文化的に自立した社会人の育成によって地域と国際社会に貢献することを使命・目的としており、建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力（課題解決型学力）の三つを核にした独自の教育実践を各学部・学科・専攻の教育目標に反映させ、学内外に明示している。また、社会情勢の変化に対応した教育体制の改編にも努めている。大学の使命・目的及び教育目的の点検や改定は、全学的な取組みとして実施しており、役員及び教職員の理解と支持を得て、学内外への周知が図られている。また、それらは三つの方針（ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシー）や法人の中長期計画に反映されており、その達成のための実践的な教育研究組織が整備されている。

「基準2. 学修と教授」について

大学のアドミッションポリシーは受験生や関係者に周知されており、改組を前提とした教育内容の見直しや募集対策の強化など入学定員の確保に努力している。教育課程は教育目的に基づいて編成されており、指導教授制などによる学生の学修支援に加え、休学、退学などに対する生活指導についても、教職員による協働の体制を整えている。単位認定、進級等は、学則、履修の手引きに基準を明示し、厳格に運用されており、GPA(Grade Point Average)制度も活用している。また、社会的・職業的自立につながるキャリア教育にも力を注いでおり、就職支援体制を整備し、高い就職率を維持している。大学設置基準に定める教員数は確保されており、昇任規則等も定められている。FD (Faculty 活動は 学部ごとに実施されており、教養教育については「基礎科目」として位置付け整備している。バリアフリーや耐震工事、校舎の改修など教育環境の整備を推進しており、クラス編制については少人数制による工夫を図っている。

「基準3. 経営・管理と財務」について

管理運営体制は、寄附行為及び諸規則に基づいて適切に機能しており、大学の使命・目的の実現のための継続的な努力がなされている。各関連官庁からの法改正等について定期的に確認し法令の遵守に努めている。環境保全や人権等に関する各種の規則を整備しており、教育情報や財務情報は学内外に広く公表している。

理事会のもとに、その補佐体制として「常任理事会」を置き、大学の使命・目的の達成に向けての戦略的意思決定が迅速にできる体制を整備している。また、学長のリーダーシップによる大学運営の組織が確保されており、経営部門と教学部門は円滑に連携している。

財務基盤については、中期経営改善計画に基づく経営改善には、中期経営改善計画に基づく経営改善に取り組んでおり、会計処理及び組んでおり、会計処理及び会計監査も適正に行われている。会計監査も適正に行われている。

「基準4. 自己点検・評価」について、自己点検・評価について

自己点検・評価は、学則及び「愛知学泉大学自己点検・自己評価委員会規程」にのっとり、学則及び「愛知学泉大学自己点検・自己評価委員会規程」にのっとり実施しており、日本高等教育評価機構、日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価の周期や評価内容を基にする大学機関別認証評価の周期や評価内容を基準にしている。エビデンスについては、自己点検・評価として大学独自に実施している各評価として大学独自に実施している各部門の「事業報告書」を活用しており、部門の「事業報告書」を活用しており、PDCAサイクルの仕組みとしても機能している。サイクルの仕組みとしても機能している。

平成29(2017)年度より年度よりIR(Institutional Research)(Institutional Research)室室が設置され、各部門での管理であが設置され、各部門での管理であったデータの収集と分析の一元化を図っており、自己点検・評価の結果及び内容は全学的なデータの収集と分析の一元化を図っており、ホームページ等によって外部にも公表している。

総じて、大学の教育は、その使命・目的に基づいた各学科の教育目標に向かって適切に運営されており、学修と教授に関しては、運営されており、学修と教授に関しては、独自の教育内容の実践による社会人養成独自の教育内容の実践による社会人養成を目指して大学として大学として、十分に個性を發揮十分に個性を發揮してしている。経営・管理と財務については、法令遵守に努める。経営・管理と財務については、法令遵守に努めながら教育改革めながら教育改革の体制体制の再構築の再構築と経営の安定化を目指しておりと経営の安定化を目指しており、自己点検・評価に関し、自己点検・評価に関しても、大学改革の推進力として位置付けても、大学改革の推進力として位置付け、堅実に努力している。堅実に努力している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和5年6月30日 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行する。
- ・大学ホームページ上に公開予定（令和5年7月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和6年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。